

1 県政全般に関する意識調査

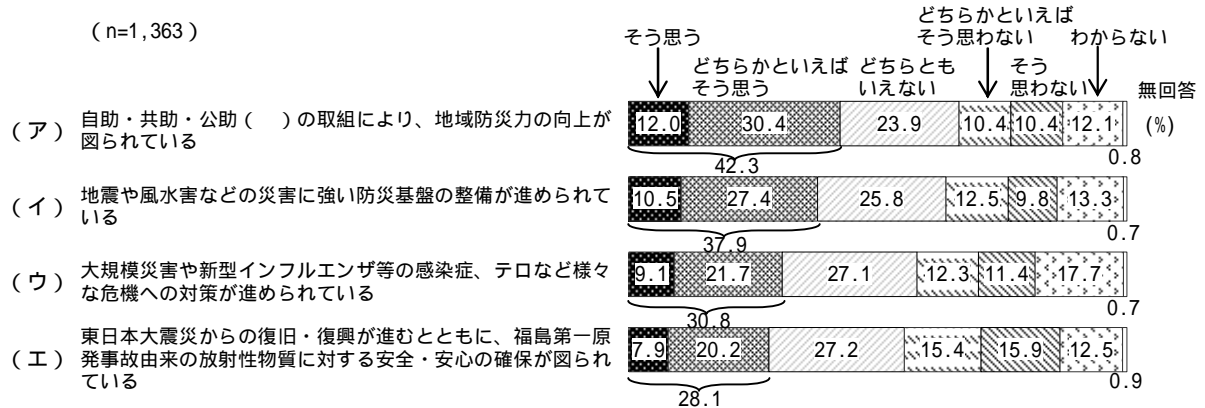
(1) 防災に関する意識

『自助・共助・公助の取組により、地域防災力の向上が図られている』が4割を超えている

問1 あなたは、防災に関する次の項目についてどう思いますか。（はそれぞれ1つ）

() 自助・共助・公助...「自助」とは、日頃から家庭で災害に備えるなど、自らの身の安全を自らが守ること、「共助」とは、地域で共に備え、助け合うこと、「公助」とは、消防・警察や自治体による救助や支援のこと。

<図表1 - 1> 防災に関する意識



防災に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ア) 自助・共助・公助の取組により、地域防災力の向上が図られている」(42.3%) が4割を超えており、「(イ) 地震や風水害などの災害に強い防災基盤の整備が進められている」(37.9%) が約4割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(エ) 東日本大震災からの復旧・復興が進むとともに、福島第一原発事故由来の放射性物質に対する安全・安心の確保が図られている」(31.3%) が、『そう思う計』(28.1%) を上回っている。(図表1 - 1)

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 自助・共助・公助の取組により、地域防災力の向上が図られている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(61.9%)で6割を超えて高くなっている。(図表1 - 2 - 1)

「(イ) 地震や風水害などの災害に強い防災基盤の整備が進められている」の『そう思う計』は、“海匝地域”(55.6%)で5割台半ばと高くなっている。(図表1 - 2 - 2)

「(ウ) 大規模災害や新型インフルエンザ等の感染症、テロなど様々な危機への対策が進められている」の『そう思う計』は、“香取地域”(41.7%)で4割を超え、“印旛地域”(39.9%)で約4割と高くなっている。(図表1 - 2 - 3)

「(エ) 東日本大震災からの復旧・復興が進むとともに、福島第一原発事故由来の放射性物質に対する安全・安心の確保が図られている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(38.1%)で約4割と高くなっている。(図表1 - 2 - 4)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

【性・年代別】

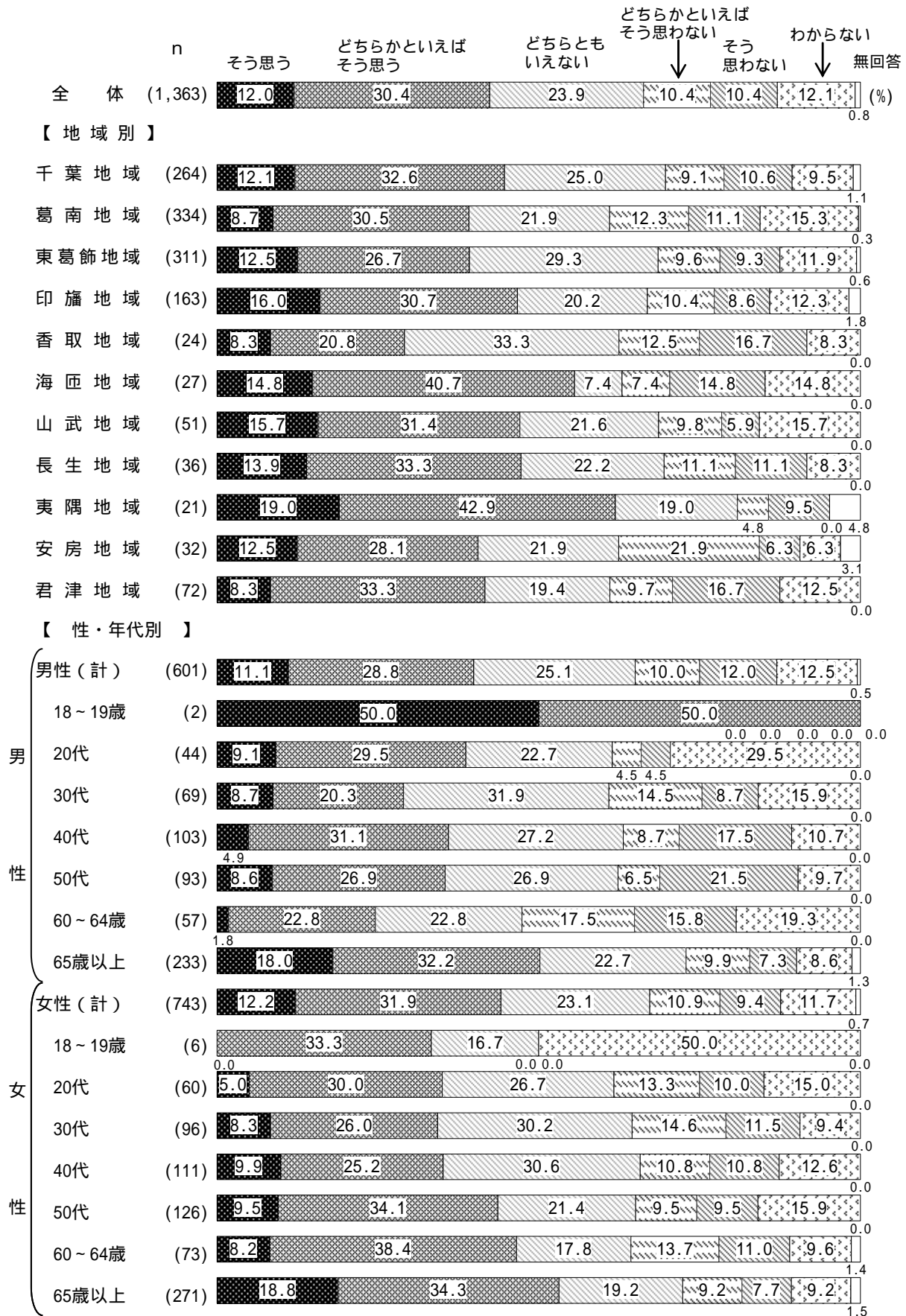
性・年代別にみると、「(ア) 自助・共助・公助の取組により、地域防災力の向上が図られている」の『そう思う計』は、男性の65歳以上（50.2%）で5割、女性の65歳以上（53.1%）で5割台半ばと高くなっている。（図表1 - 2 - 1）

「(イ) 地震や風水害などの災害に強い防災基盤の整備が進められている」の『そう思う計』は、男性の65歳以上（50.2%）で5割と高くなっている。（図表1 - 2 - 2）

「(ウ) 大規模災害や新型インフルエンザ等の感染症、テロなど様々な危機への対策が進められている」の『そう思う計』は、男性の65歳以上（46.8%）で4割台半ばと高くなっている。（図表1 - 2 - 3）

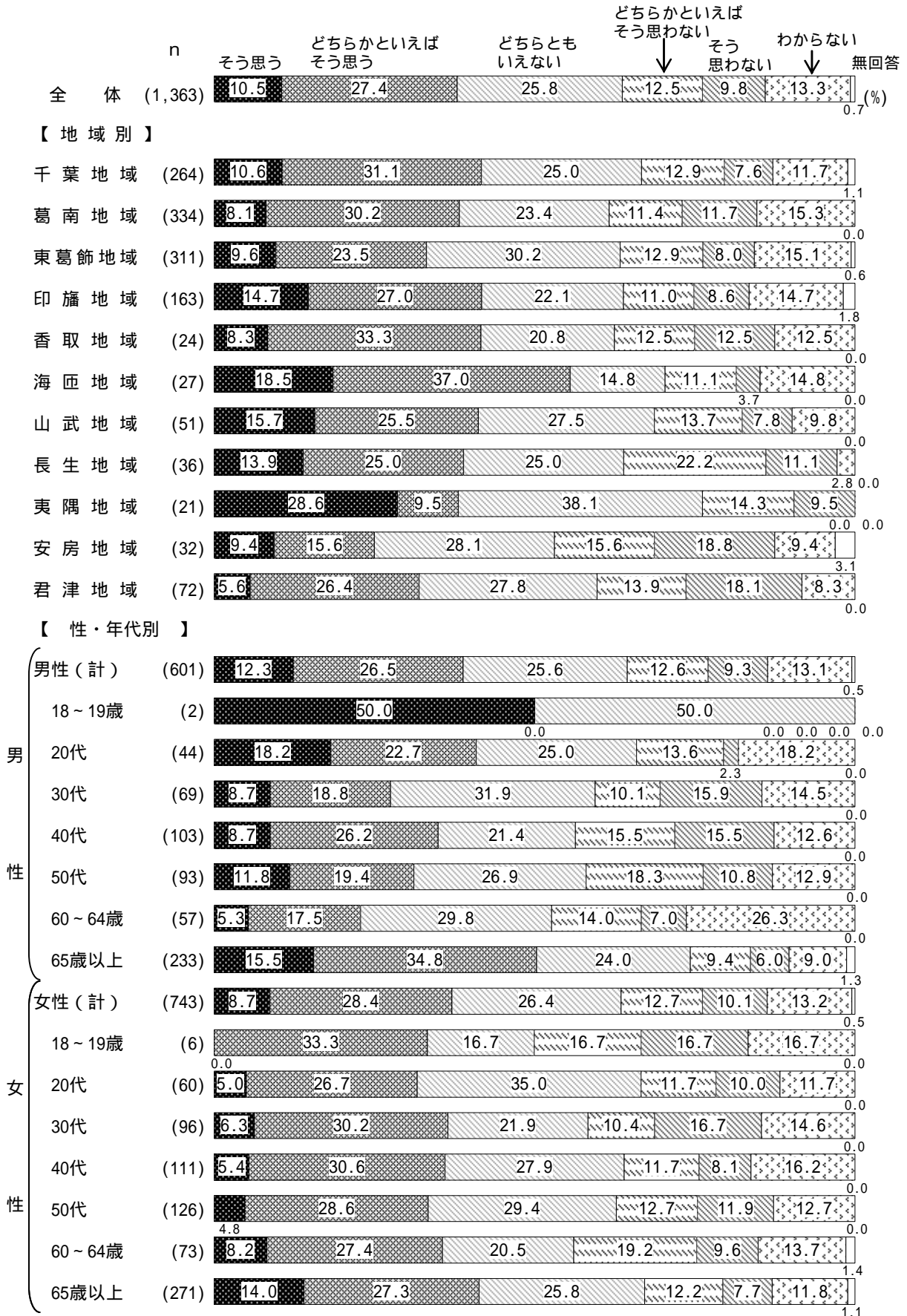
「(エ) 東日本大震災からの復旧・復興が進むとともに、福島第一原発事故由来の放射性物質に対する安全・安心の確保が図られている」の『そう思わない計』は、男性の30代（42.0%）、男性の40代（42.7%）で4割を超えており、男性の50代（44.1%）で4割台半ばと高くなっている。（図表1 - 2 - 4）

<図表 1 - 2 - 1> 防災に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ア) 自助・共助・公助の取組により、地域防災力の向上が図られている

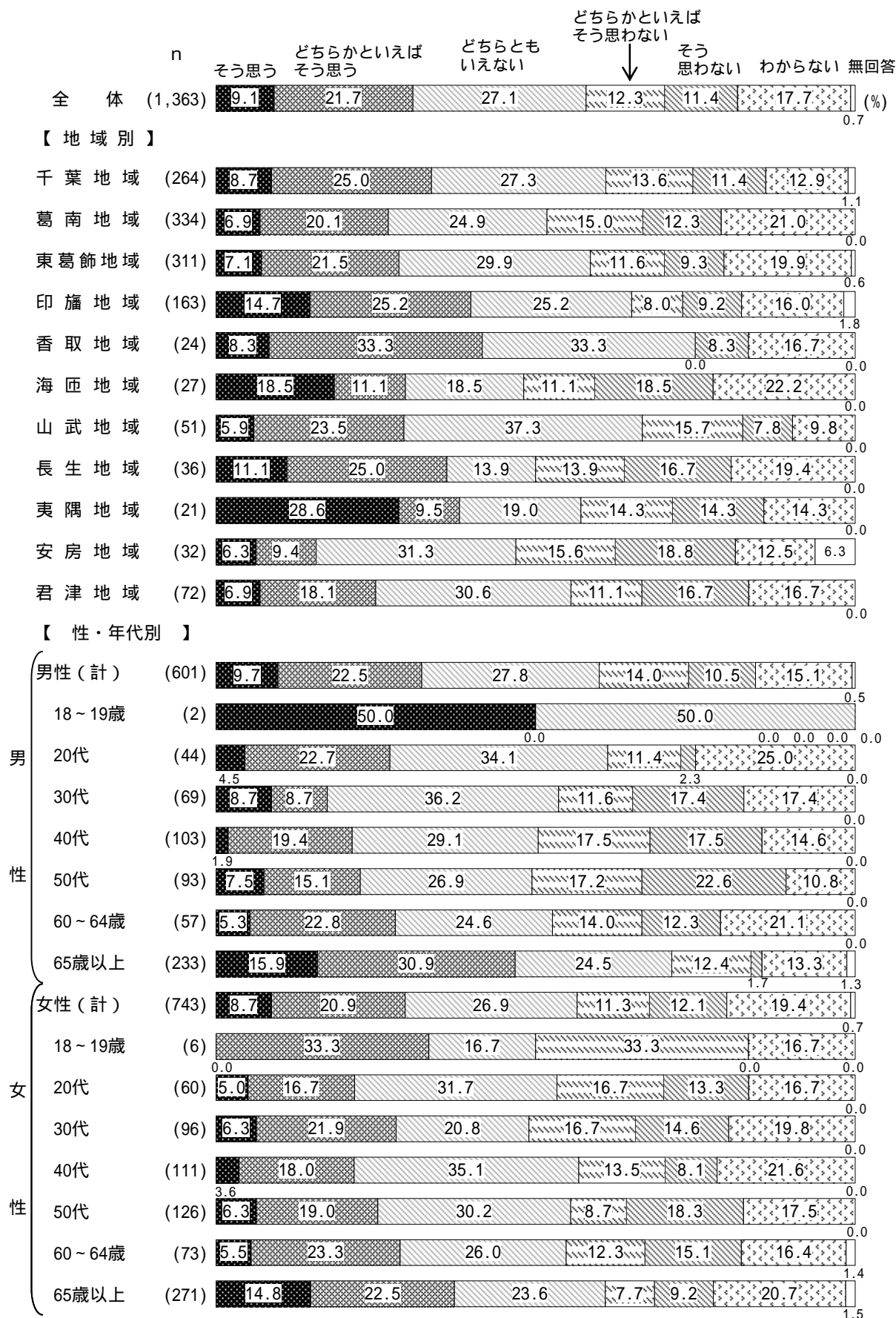


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 2 - 2 > 防災に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (イ) 地震や風水害などの災害に強い防災基盤の整備が進められている



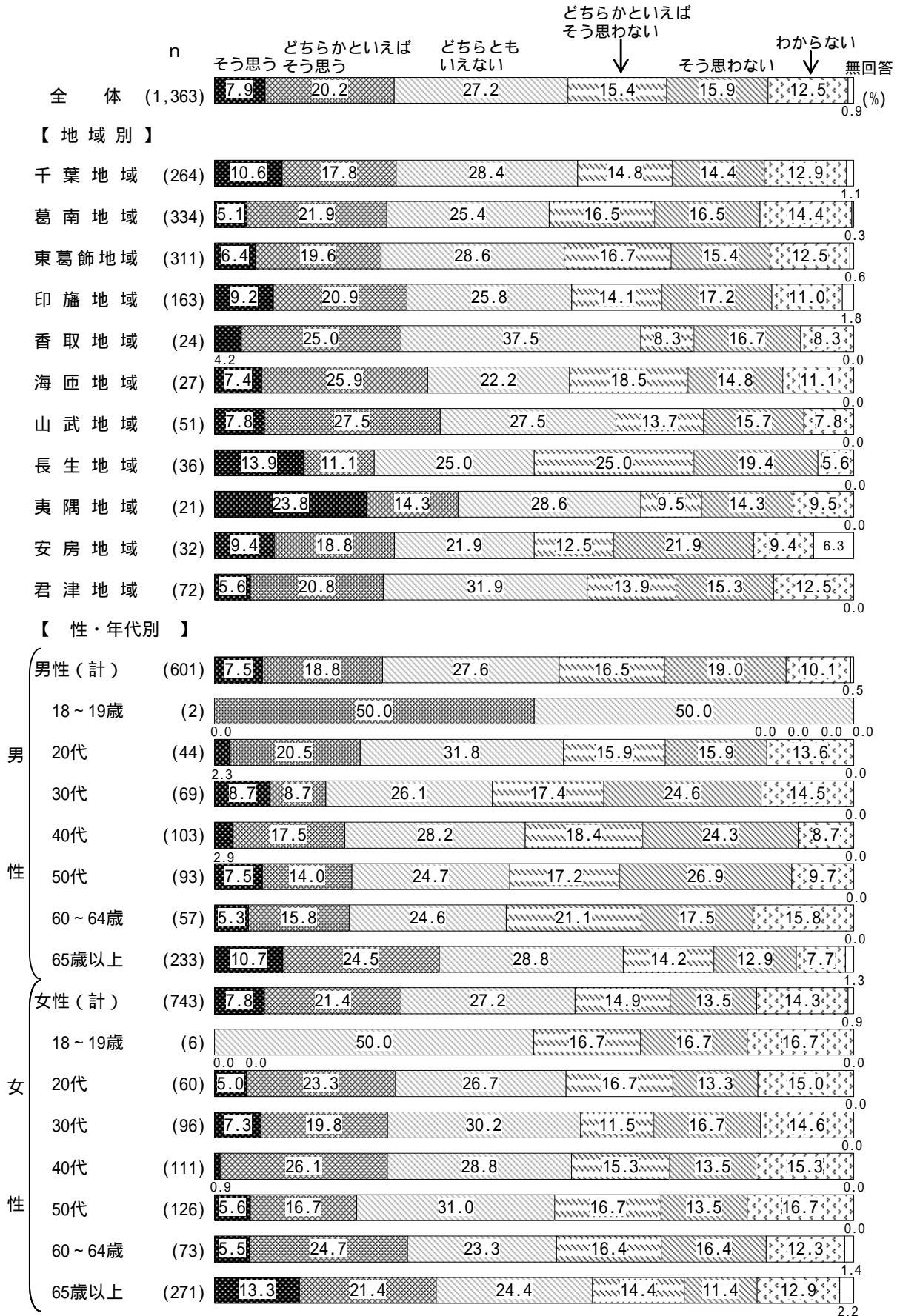
<図表 1 - 2 - 3> 防災に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ウ) 大規模災害や新型インフルエンザ等の感染症、テロなど様々な危機への対策が進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 2 - 4 > 防災に関する意識 / 地域別、性・年代別

(エ) 東日本大震災からの復旧・復興が進むとともに、福島第一原発事故由来の放射性物質に対する安全・安心の確保が図られている



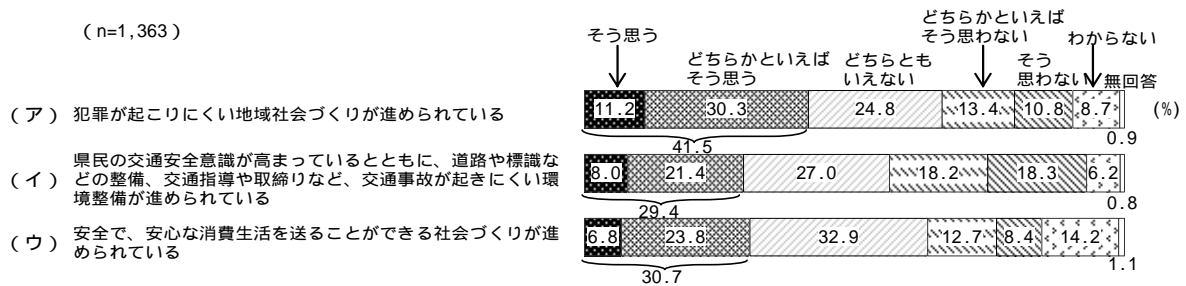
（２）暮らしの安全・安心に関する意識

『犯罪が起りにくい地域社会づくりが進められている』が４割を超えている

問２ あなたは、暮らしの安全・安心に関する次の項目についてどう思いますか。

（ はそれぞれ１つ）

<図表 1 - 3> 暮らしの安全・安心に関する意識



暮らしの安全・安心に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ア) 犯罪が起りにくい地域社会づくりが進められている」(41.5%) が４割を超えており、「(ウ) 安全で、安心な消費生活を送ることができる社会づくりが進められている」(30.7%) が３割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(イ) 県民の交通安全意識が高まっているとともに、道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている」(36.5%) が、『そう思う計』(29.4%) を上回っている。(図表 1 - 3)

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 犯罪が起りにくい地域社会づくりが進められている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(47.7%) で約５割と高くなっている。(図表 1 - 4 - 1)

「(イ) 県民の交通安全意識が高まっているとともに、道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている」の『そう思わない計』は、“君津地域”(43.1%) で４割台半ば、“葛南地域”(41.6%) で４割を超えて高くなっている。(図表 1 - 4 - 2)

「(ウ) 安全で、安心な消費生活を送ることができる社会づくりが進められている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(52.4%) で５割を超えて高くなっている。(図表 1 - 4 - 3)

【性・年代別】

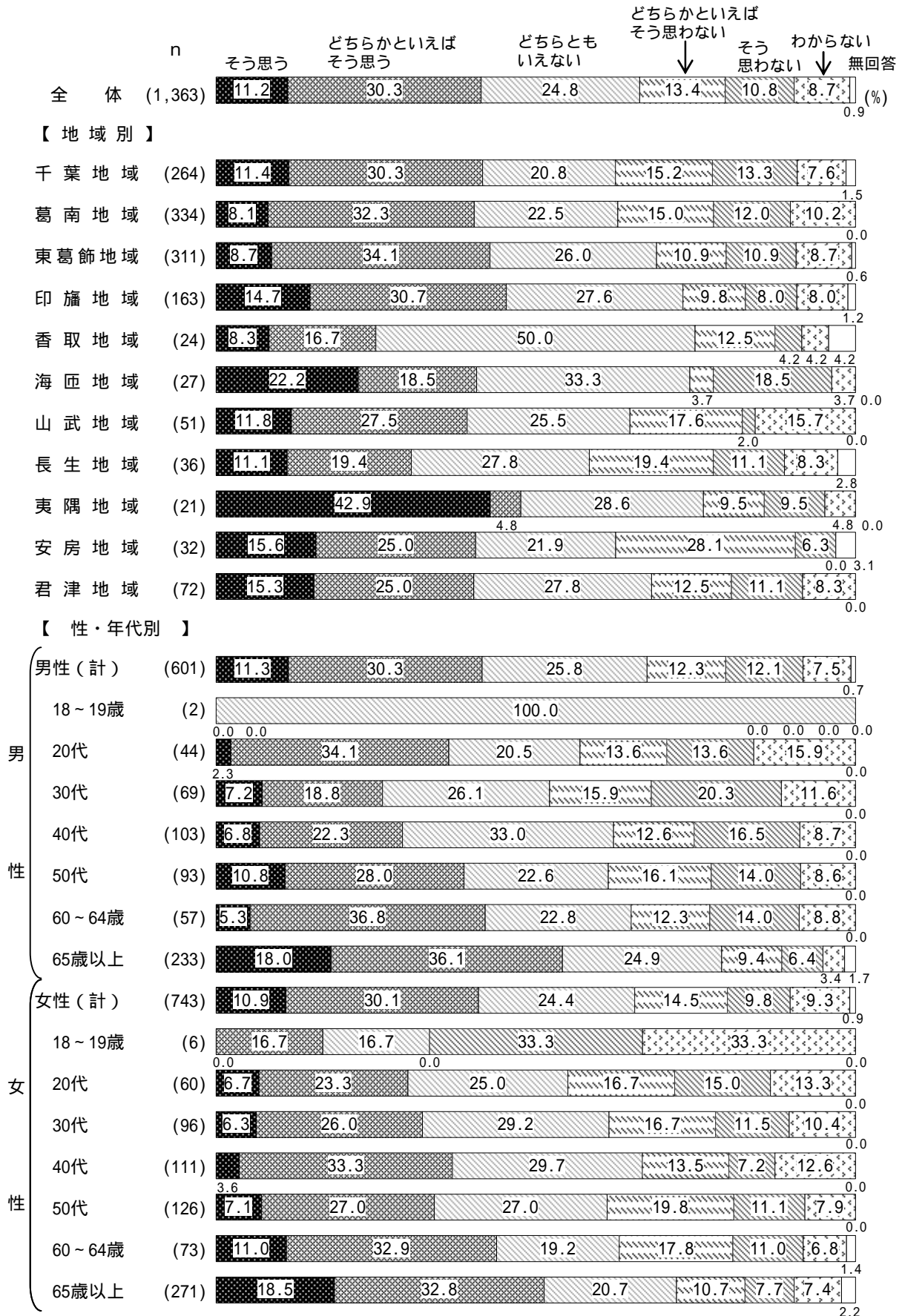
性・年代別にみると、「(ア) 犯罪が起りにくい地域社会づくりが進められている」の『そう思う計』は、男性の65歳以上(54.1%) で５割台半ば、女性の65歳以上(51.3%) で５割を超えて高くなっている。(図表 1 - 4 - 1)

「(イ) 県民の交通安全意識が高まっているとともに、道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている」の『そう思わない計』は、男性の30代(49.3%)、女性の60～64歳(49.3%) で約５割と高くなっている。(図表 1 - 4 - 2)

「(ウ) 安全で、安心な消費生活を送ることができる社会づくりが進められている」の『そう思わない計』は、男性の50代(35.5%) で３割台半ばと高くなっている。(図表 1 - 4 - 3)

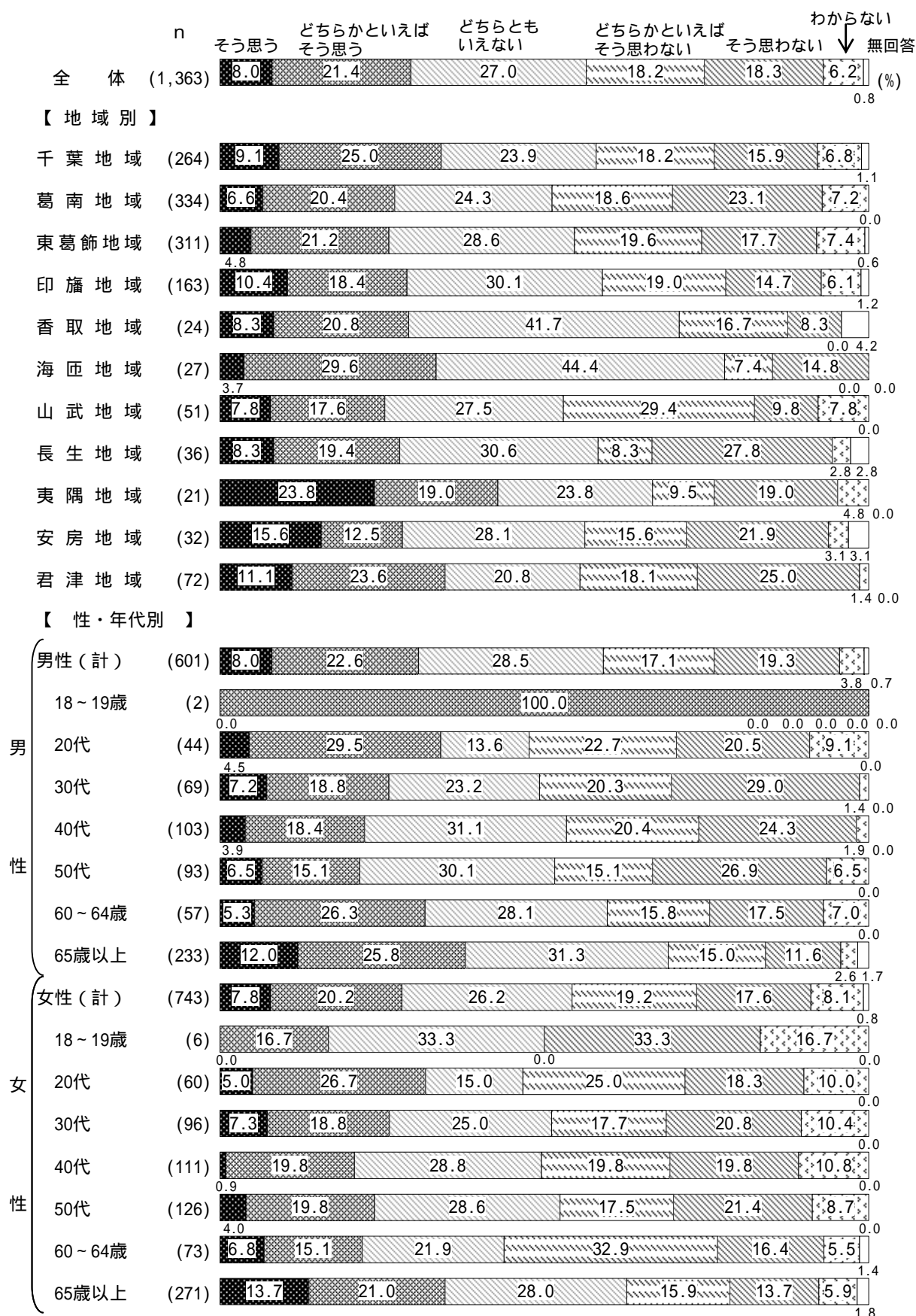
第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 4 - 1> 暮らしの安全・安心に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ア) 犯罪が起こりにくい地域社会づくりが進められている



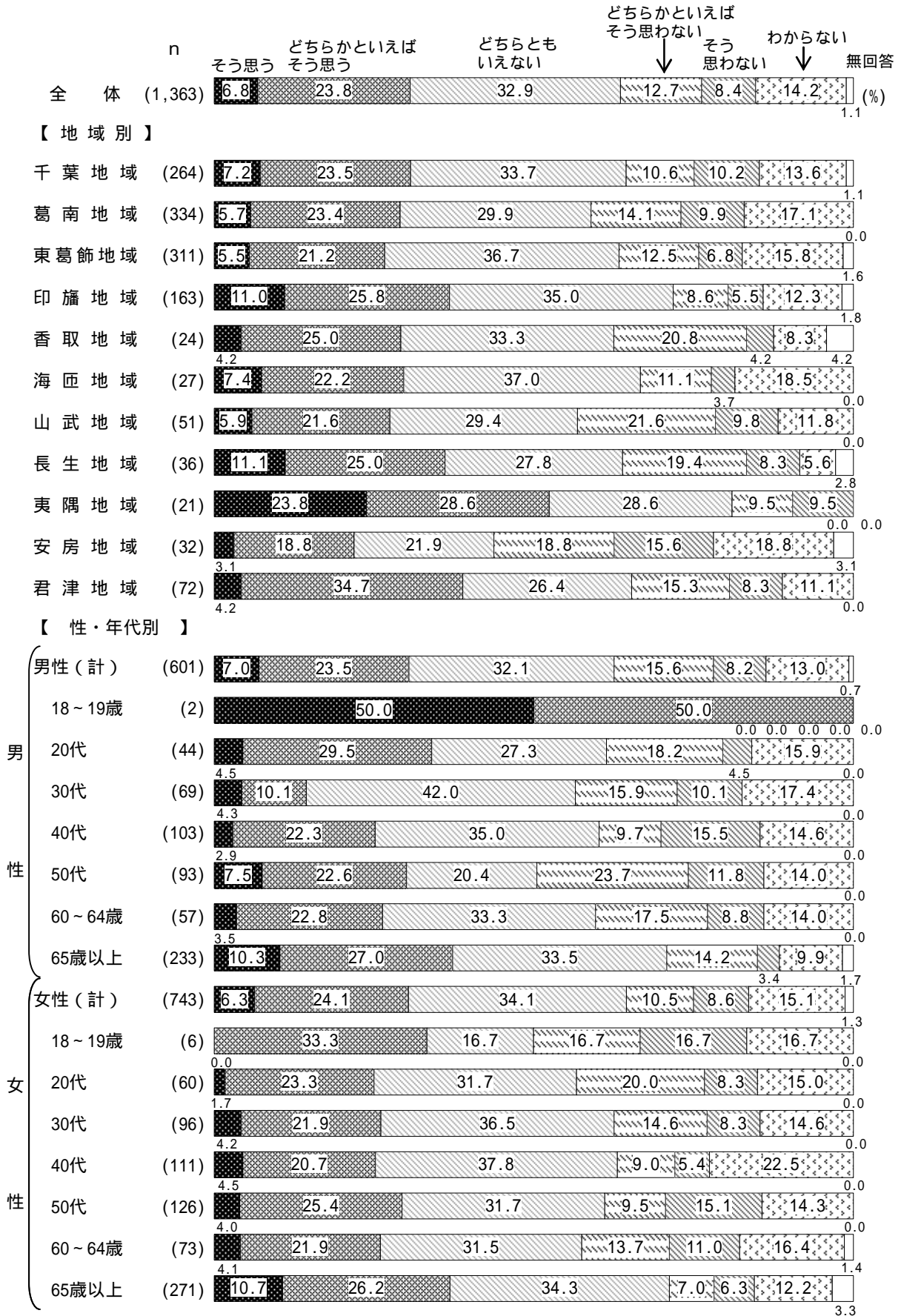
<図表 1 - 4 - 2> 暮らしの安全・安心に関する意識 / 地域別、性・年代別

(イ) 県民の交通安全意識が高まっているとともに、道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 4 - 3> 暮らしの安全・安心に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ウ) 安全で、安心な消費生活を送ることができる社会づくりが進められている



（ 3 ） 医療・福祉・健康づくりに関する意識

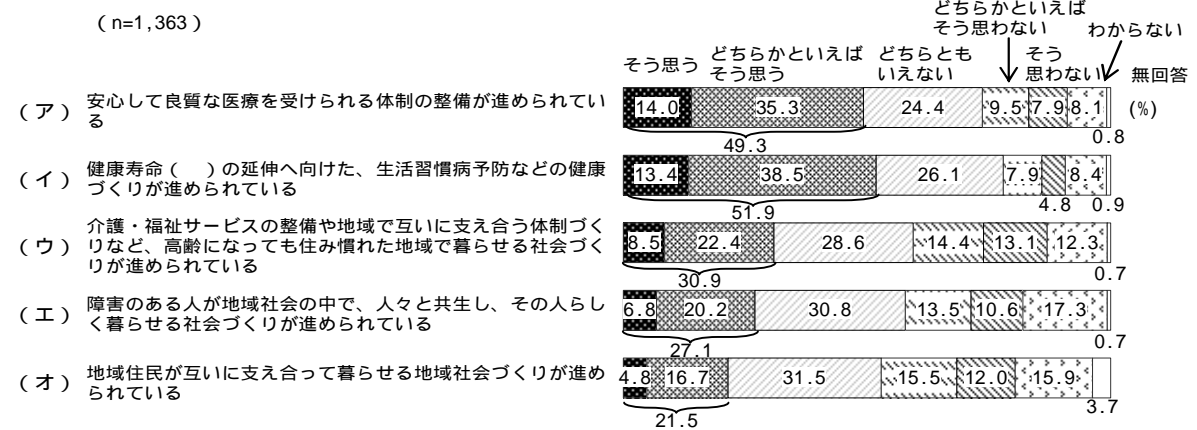
『健康寿命の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている』が 5 割を超えている

問 3 あなたは、医療・福祉・健康づくりに関する次の項目についてどう思いますか。

（ はそれぞれ 1 つ）

（ ）健康寿命...一生のうち、健康で支障なく日常生活を送れる期間のこと。

< 図表 1 - 5 > 医療・福祉・健康づくりに関する意識



医療・福祉・健康づくりに関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ)健康寿命の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている」(51.9%)が5割を超えており、「(ア)安心して良質な医療を受けられる体制の整備が進められている」(49.3%)が約5割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(オ)地域住民が互いに支え合って暮らせる地域社会づくりが進められている」(27.4%)が、『そう思う計』(21.5%)を上回っている。(図表 1 - 5)

【地域別】

地域別にみると、「(イ)健康寿命の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(61.9%)で6割を超えて高くなっている。(図表 1 - 6 - 2)

「(ウ)介護・福祉サービスの整備や地域で互いに支え合う体制づくりなど、高齢になっても住み慣れた地域で暮らせる社会づくりが進められている」の『そう思わない計』は、“山武地域”(43.1%)、“安房地域”(43.8%)で4割台半ばと高くなっている。(図表 1 - 6 - 3)

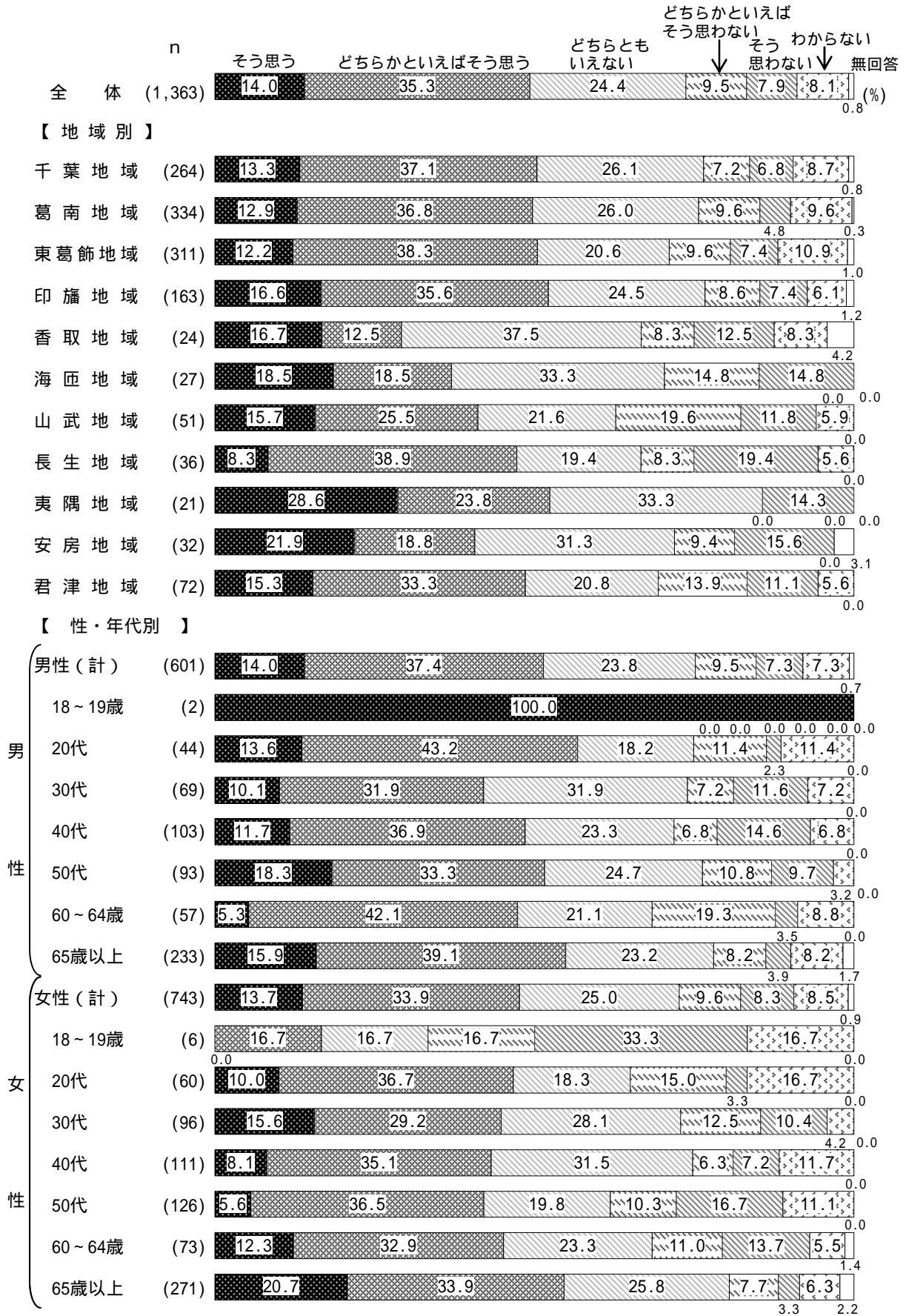
【性・年代別】

性・年代別にみると、「(イ)健康寿命の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている」の『そう思う計』は、男性の65歳以上(61.8%)で6割を超え、女性の65歳以上(66.1%)で6割台半ばと高くなっている。(図表 1 - 6 - 2)

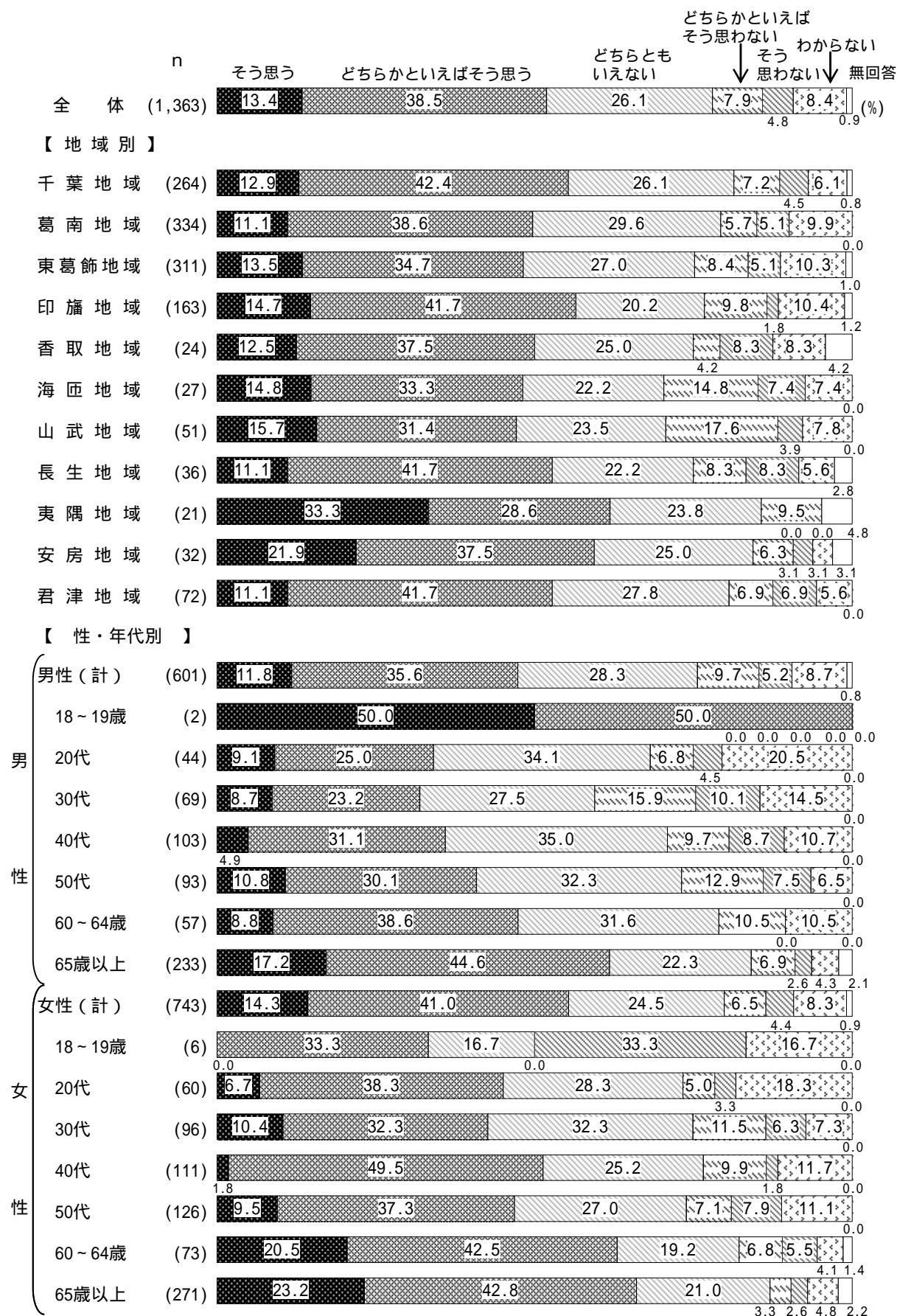
「(オ)地域住民が互いに支え合って暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思わない計』は、男性の50代(45.2%)で4割台半ばと高くなっている。(図表 1 - 6 - 5)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 6 - 1> 医療・福祉・健康づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ア) 安心して良質な医療を受けられる体制の整備が進められている

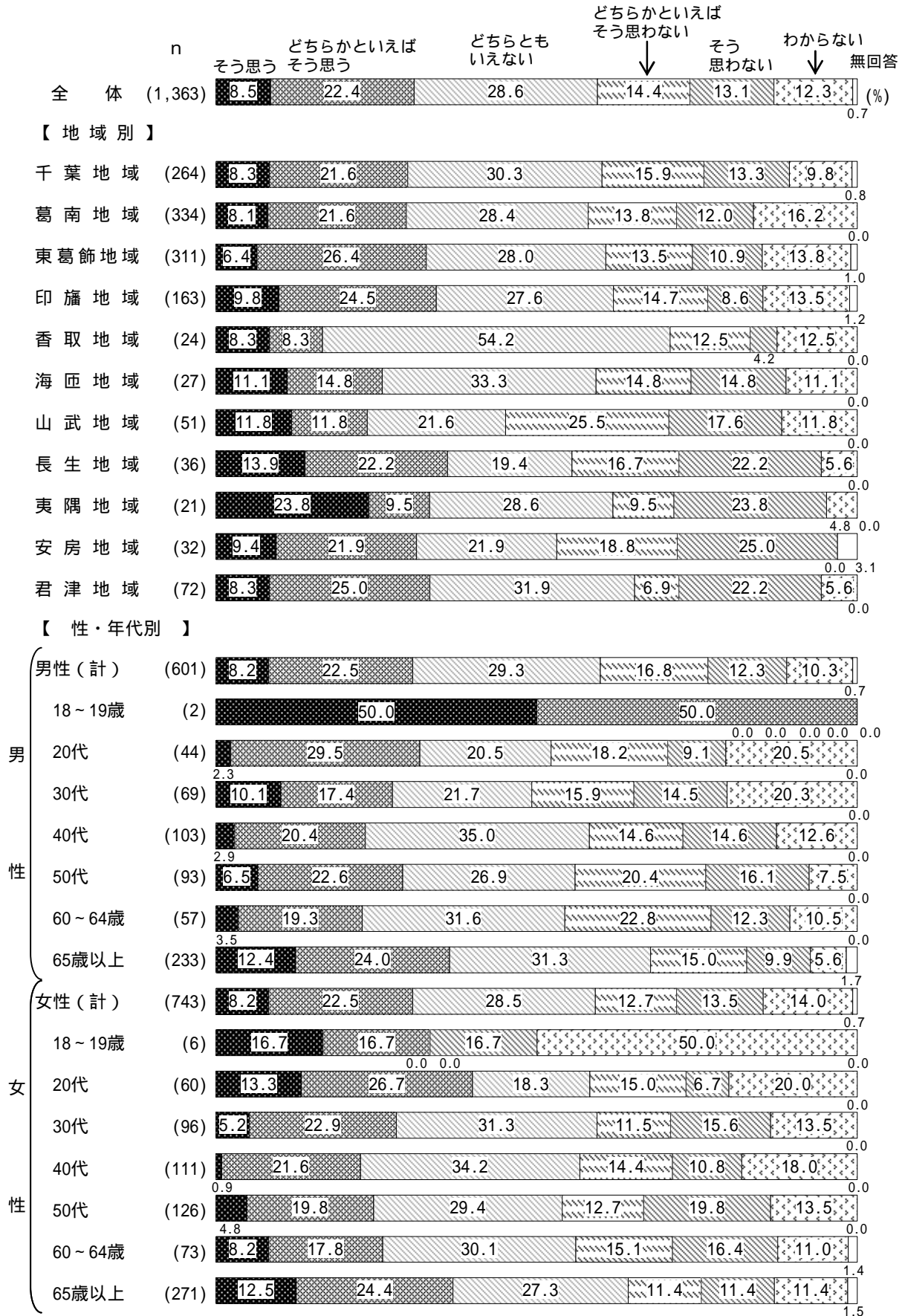


< 図表 1 - 6 - 2 > 医療・福祉・健康づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別
 (イ) 健康寿命の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている

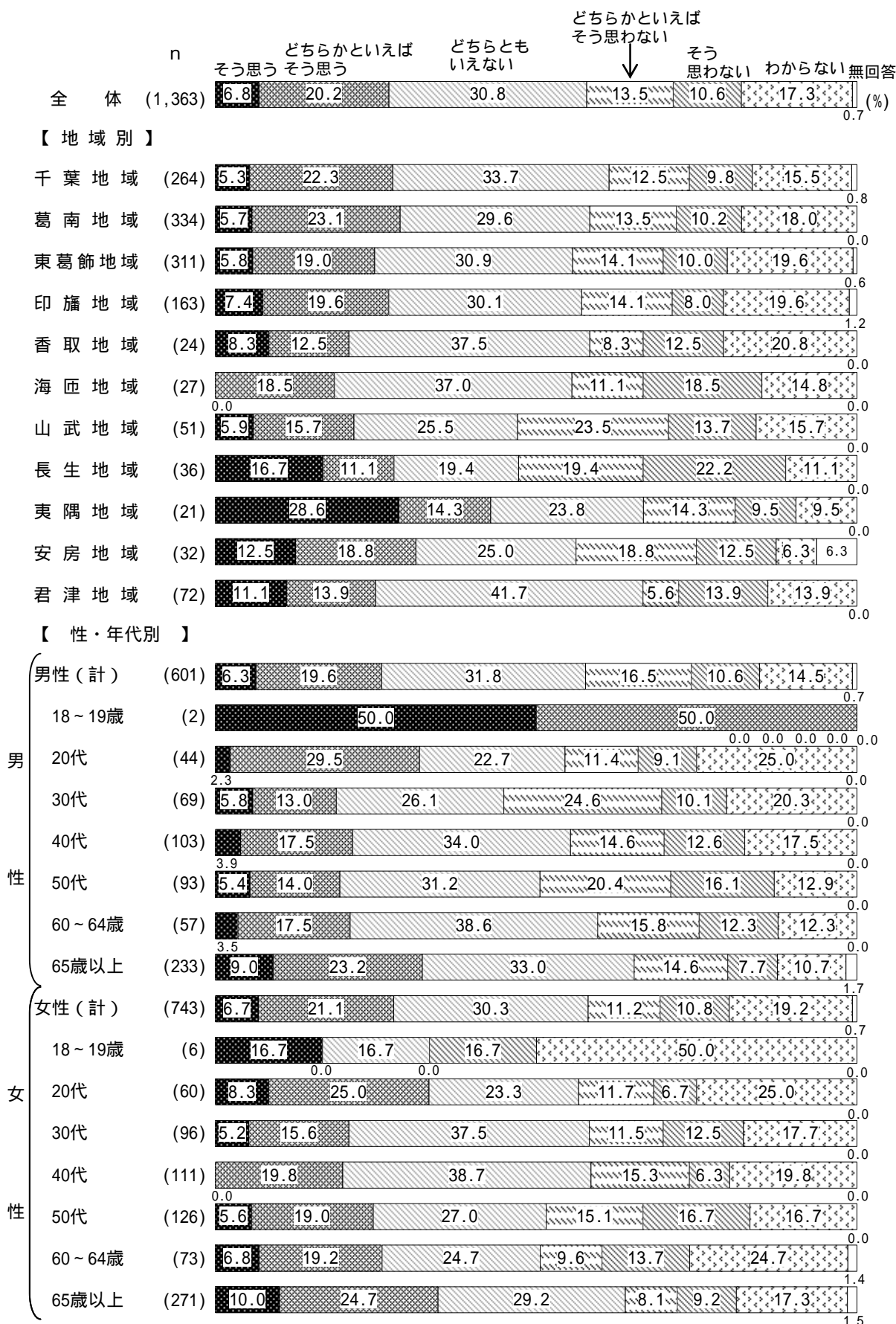


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 6 - 3> 医療・福祉・健康づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ウ) 介護・福祉サービスの整備や地域で互いに支え合う体制づくりなど、高齢になっても
 住み慣れた地域で暮らせる社会づくりが進められている

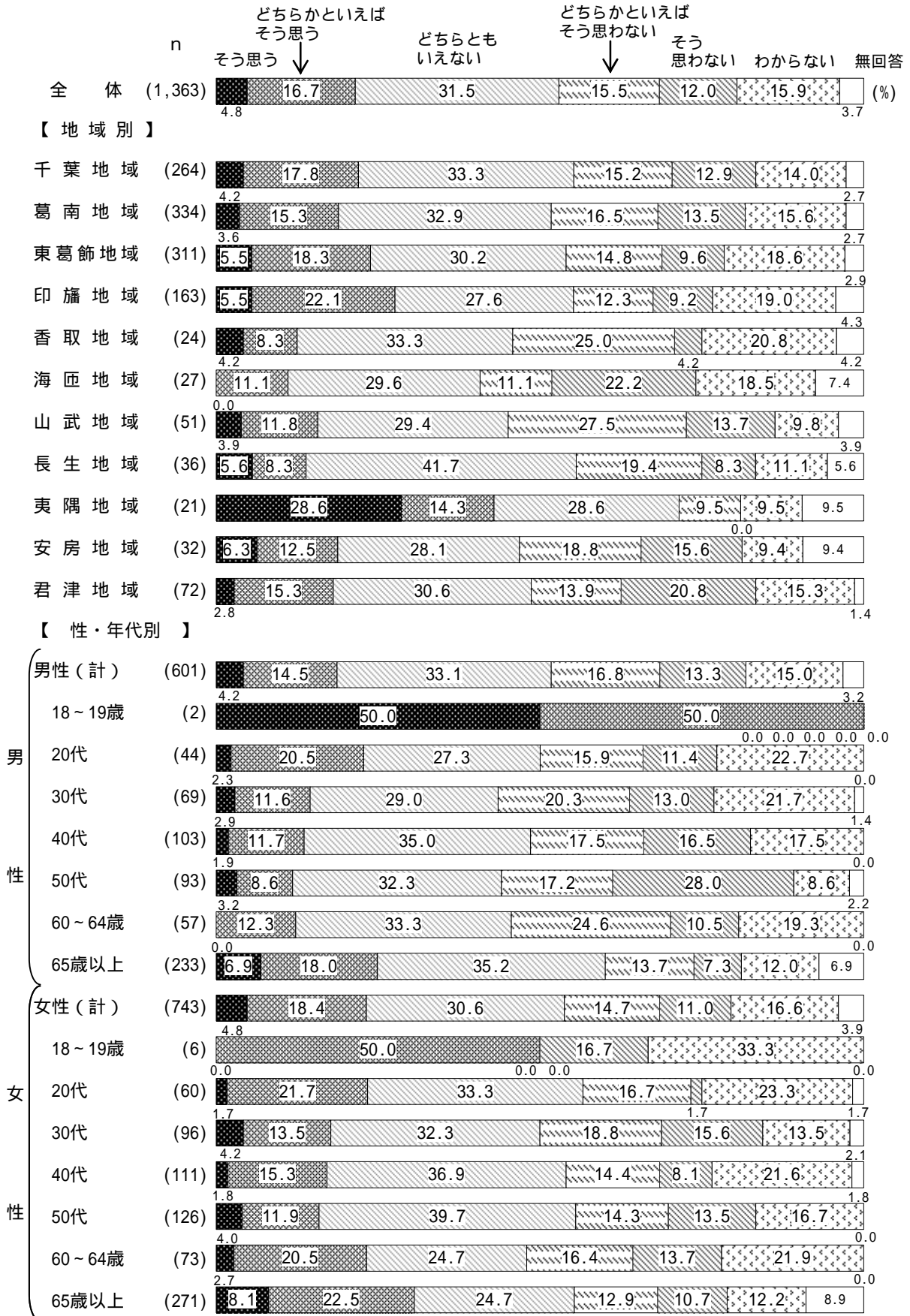


< 図表 1 - 6 - 4 > 医療・福祉・健康づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別
 (エ) 障害のある人が地域社会の中で、人々と共生し、その人らしく暮らせる社会づくりが進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 6 - 5 > 医療・福祉・健康づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別
 (オ) 地域住民が互いに支え合って暮らせる地域社会づくりが進められている



（４）文化・スポーツ振興に関する意識

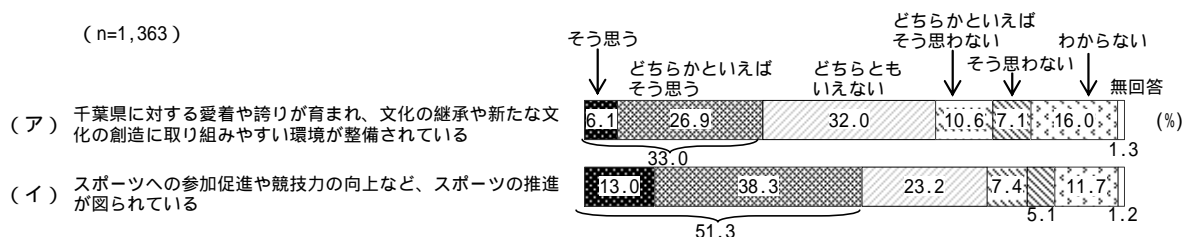
『スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている』が 5 割を超えている

問４ あなたは、文化・スポーツ振興に関する次の項目についてどう思いますか。

（ はそれぞれ 1 つ）

<図表 1 - 7> 文化・スポーツ振興に関する意識

(n=1,363)



文化・スポーツ振興に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ) スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている」(51.3%) が 5 割を超えており、「(ア) 千葉県に対する愛着や誇りが生まれ、文化の継承や新たな文化の創造に取り組みやすい環境が整備されている」(33.0%) が 3 割台半ばとなっている。

(図表 1 - 7)

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 千葉県に対する愛着や誇りが生まれ、文化の継承や新たな文化の創造に取り組みやすい環境が整備されている」の『そう思う計』は、“夷隅地域” (52.4%) で 5 割を超えて高くなっている。(図表 1 - 8 - 1)

「(イ) スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている」の『そう思う計』は、“印旛地域” (57.1%) で約 6 割と高くなっている。(図表 1 - 8 - 2)

【性・年代別】

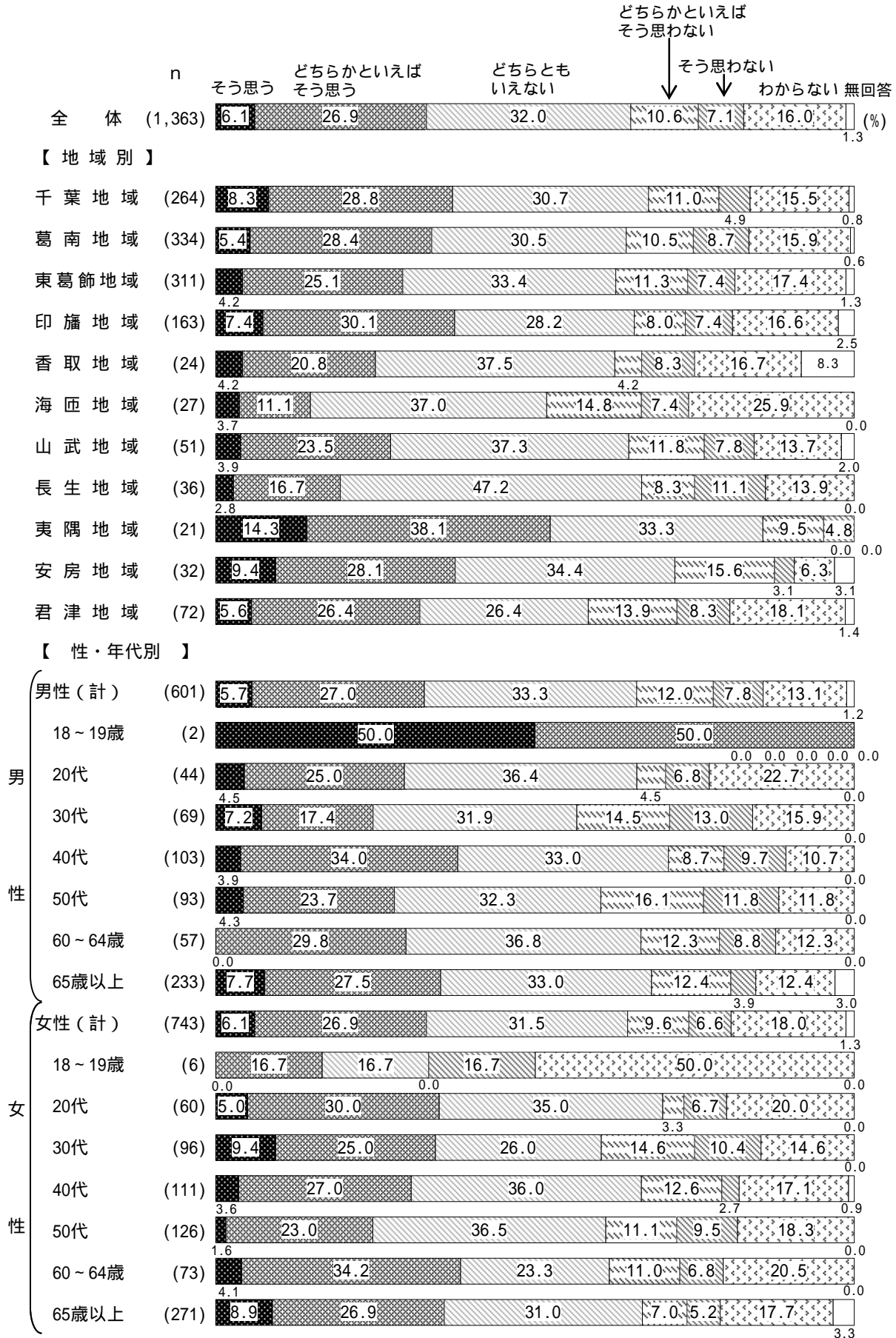
性・年代別にみると、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(ア) 千葉県に対する愛着や誇りが生まれ、文化の継承や新たな文化の創造に取り組みやすい環境が整備されている」の男性の 30代 (27.5%)、男性の 50代 (28.0%) で約 3 割と高くなっている。(図表 1 - 8 - 1)

「(イ) スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている」の『そう思う計』は、男性の 40代 (62.1%) で 6 割を超えて高くなっている。(図表 1 - 8 - 2)

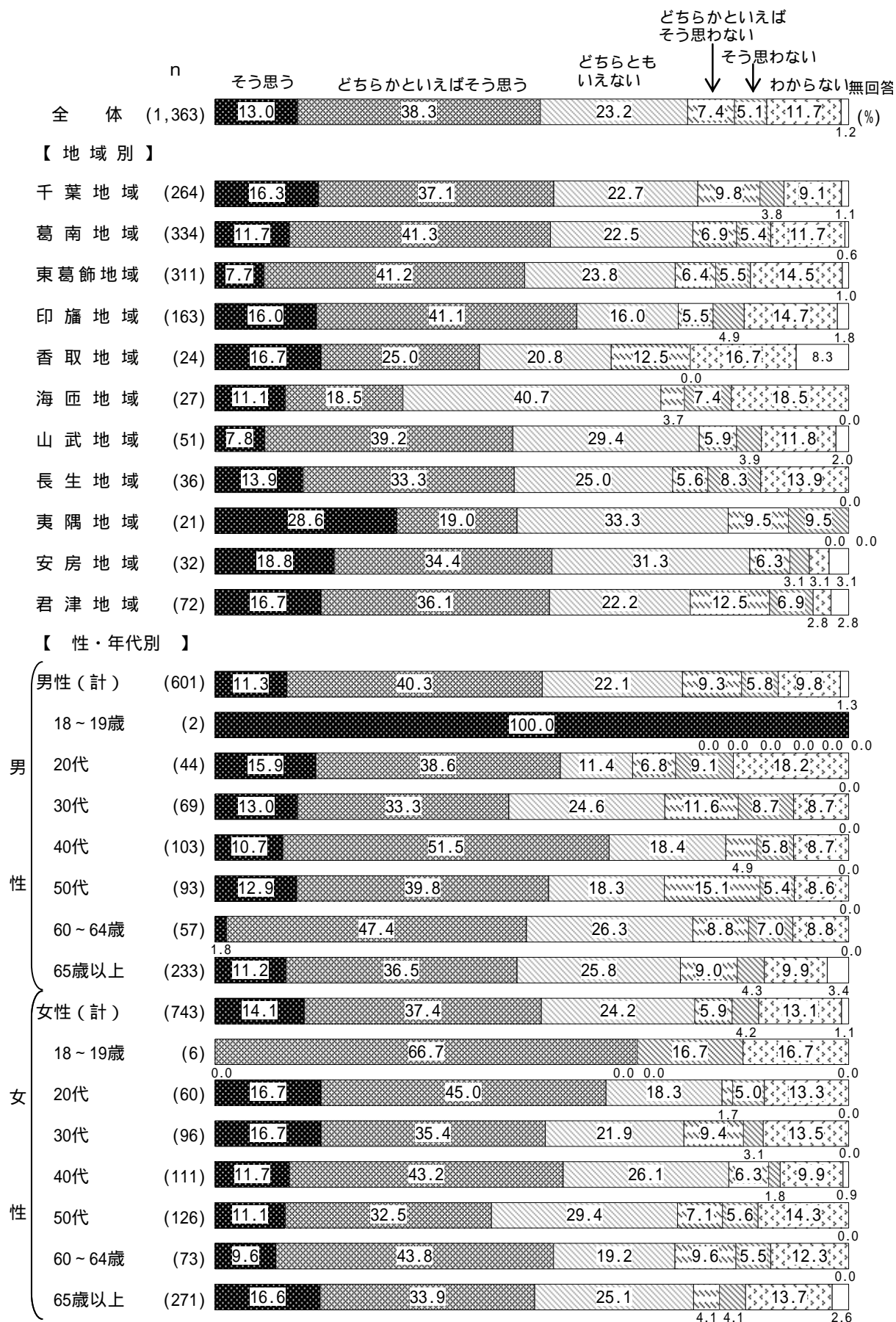
第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 8 - 1>文化・スポーツ振興に関する意識 / 地域別、性・年代別

(ア) 千葉県に対する愛着や誇りが生まれ、文化の継承や新たな文化の創造に取り組みやすい環境が整備されている



<図表 1 - 8 - 2>文化・スポーツ振興に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (イ) スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている



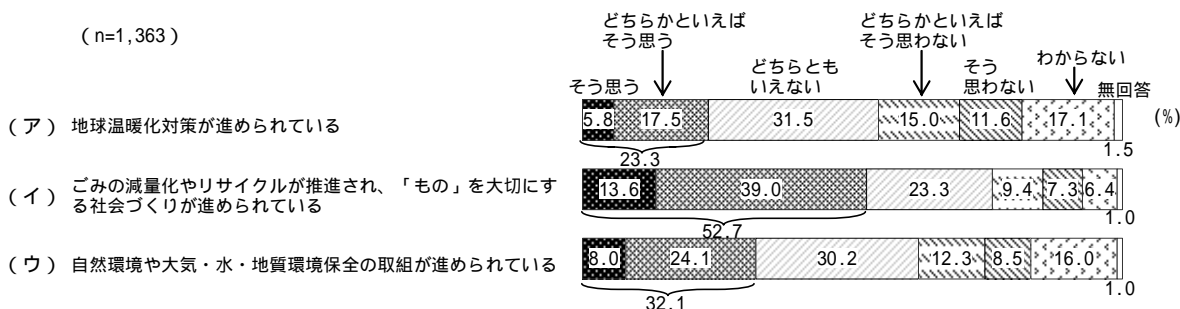
（ 5 ） 環境問題に関する意識

『ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切に作る社会づくりが進められている』が 5 割を超えている

問 5 あなたは、環境問題に関する次の項目についてどう思いますか。（ はそれぞれ 1 つ）

< 図表 1 - 9 > 環境問題に関する意識

(n=1,363)



環境問題に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ)ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切に作る社会づくりが進められている」(52.7%)が 5 割を超えており、「(ウ)自然環境や大気・水・地質環境保全の取組が進められている」(32.1%)が 3 割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(ア)地球温暖化対策が進められている」(26.6%)が『そう思う計』(23.3%)を上回っている。

(図表 1 - 9)

【地域別】

地域別にみると、「(ア)地球温暖化対策が進められている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(57.1%)で約 6 割と高くなっている。(図表 1 - 10 - 1)

「(イ)ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切に作る社会づくりが進められている」の『そう思う計』は、“印旛地域”(60.1%)で 6 割、“千葉地域”(59.5%)で約 6 割と高くなっている。(図表 1 - 10 - 2)

「(ウ)自然環境や大気・水・地質環境保全の取組が進められている」の『そう思う計』は、“山武地域”(17.6%)で約 2 割、“香取地域”(16.7%)で 1 割台半ばと低くなっている。

(図表 1 - 10 - 3)

【性・年代別】

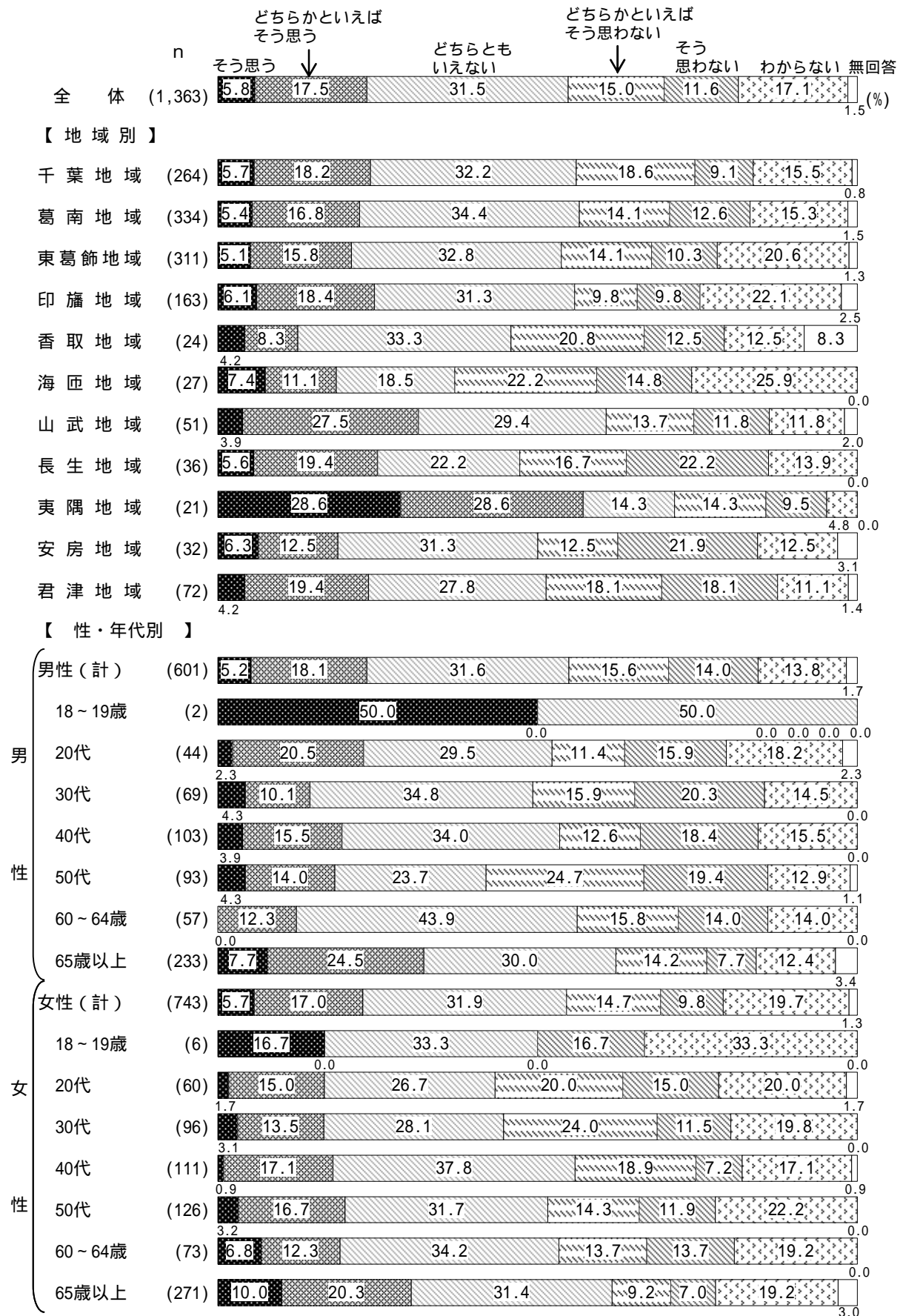
性・年代別にみると、「(ア)地球温暖化対策が進められている」の『そう思わない計』は、男性の 50 代(44.1%)で 4 割台半ば、女性の 20 代(35.0%)、30 代(35.4%)で 3 割台半ばと高くなっている。(図表 1 - 10 - 1)

「(イ)ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切に作る社会づくりが進められている」の『そう思う計』は、女性の 60~64 歳(64.4%)、女性の 65 歳以上(63.8%)で 6 割台半ばと高くなっている。(図表 1 - 10 - 2)

「(ウ)自然環境や大気・水・地質環境保全の取組が進められている」の『そう思う計』は、女性の 65 歳以上(42.8%)で 4 割を超えて高くなっている。(図表 1 - 10 - 3)

<図表 1 - 10 - 1> 環境問題に関する意識 / 地域別、性・年代別

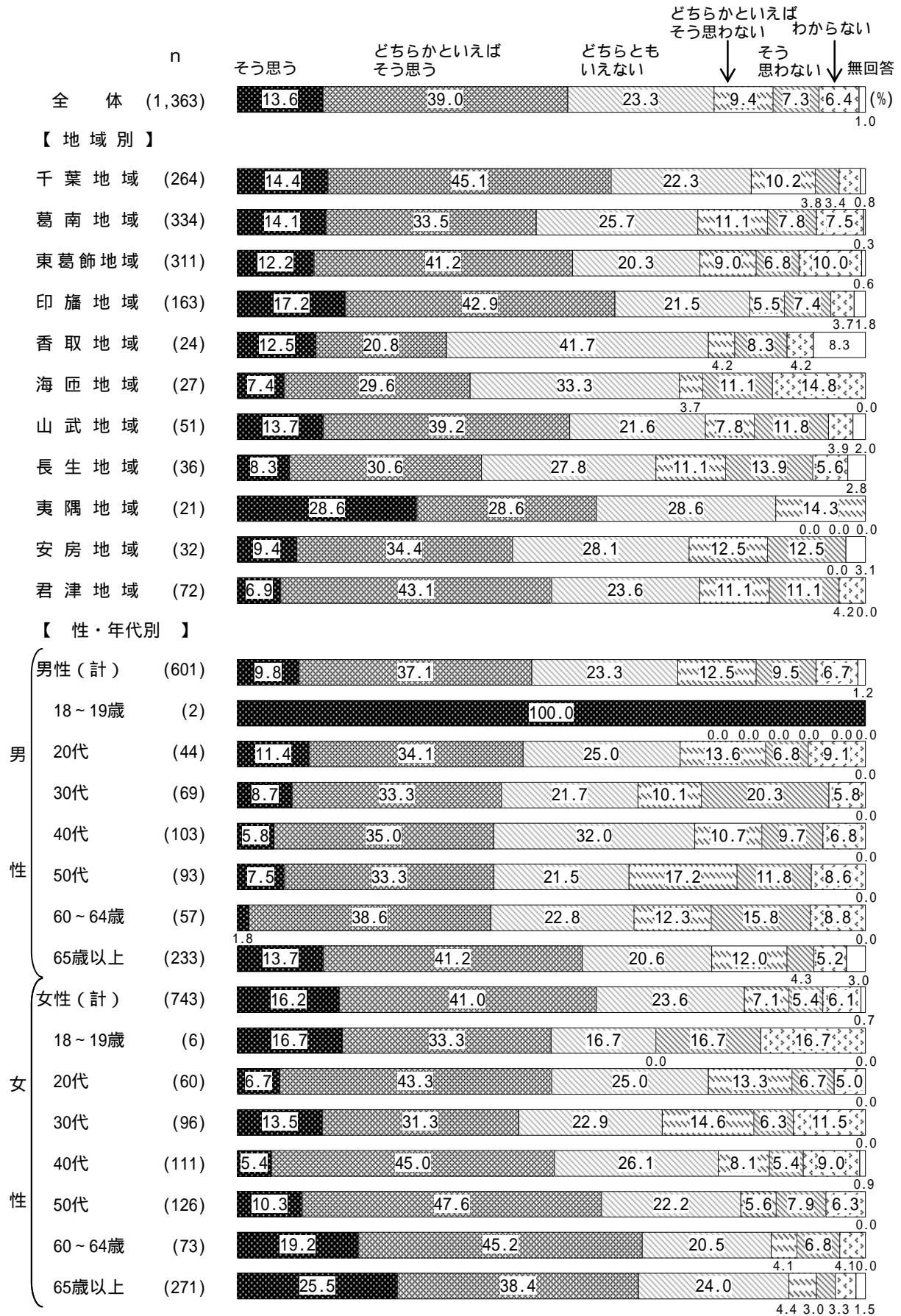
(ア) 地球温暖化対策が進められている



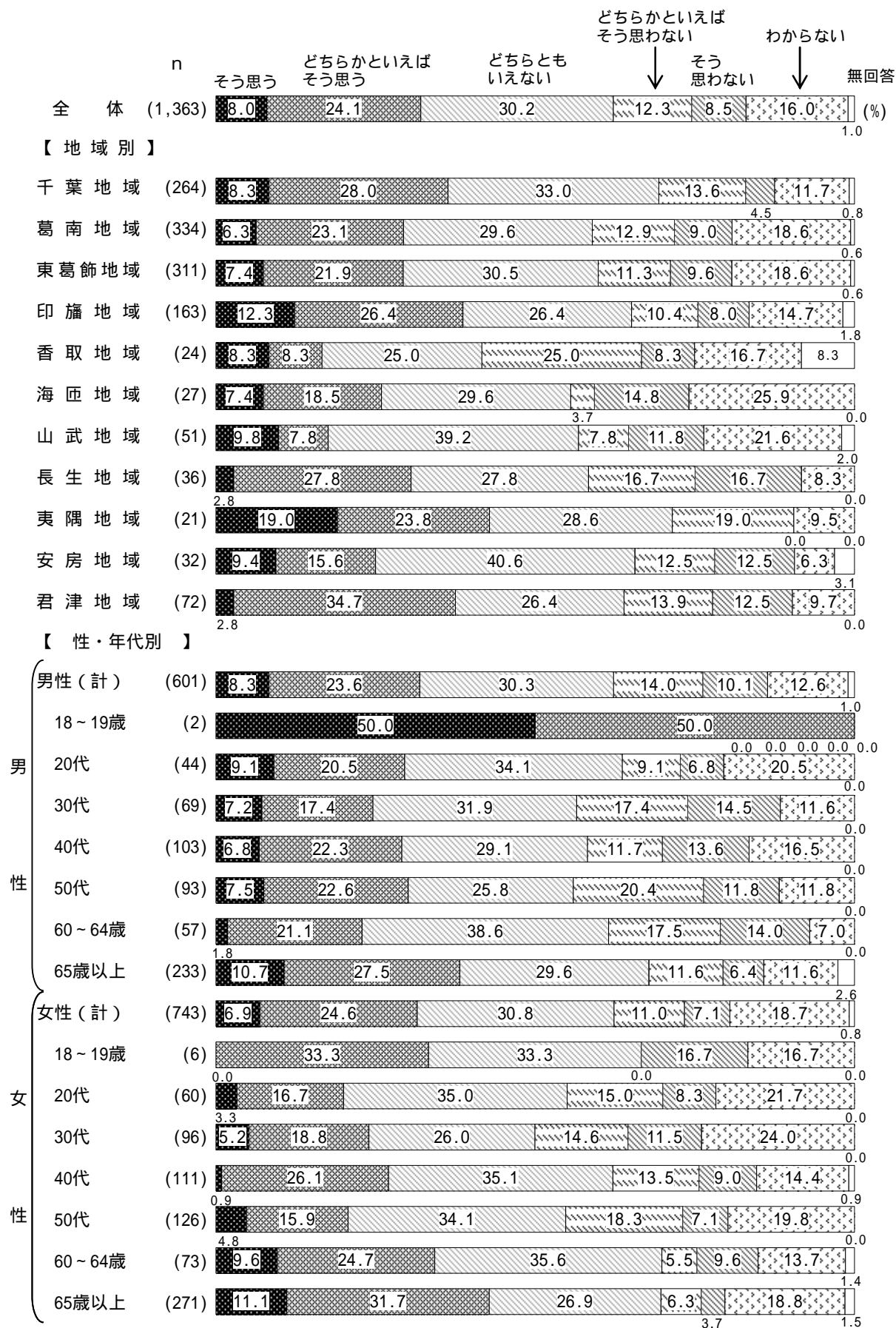
第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 10 - 2 > 環境問題に関する意識 / 地域別、性・年代別

(イ) ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切にする社会づくりが進められている



< 図表 1 - 10 - 3 > 環境問題に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ウ) 自然環境や大気・水・地質環境保全の取組が進められている

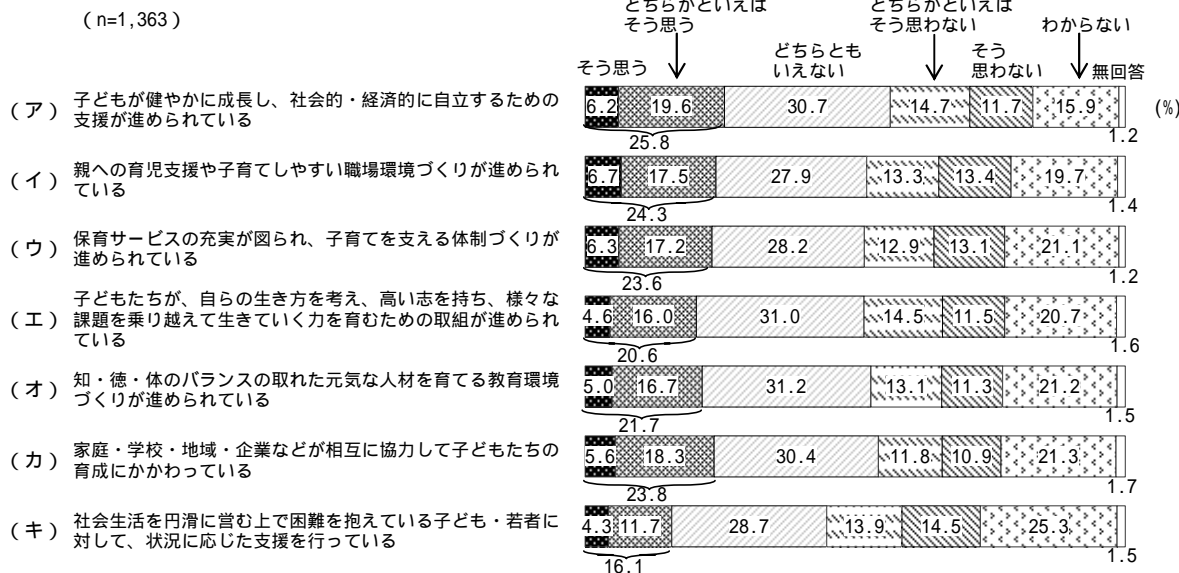


（ 6 ）子育てや教育に関する意識

『子どもが健やかに成長し、社会的・経済的に自立するための支援が進められている』が2割台半ば

問 6 あなたは、子育てや教育に関する次の項目についてどう思いますか。（ はそれぞれ1つ）

< 図表 1 - 11 > 子育てや教育に関する意識



子育てや教育に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ア)子どもが健やかに成長し、社会的・経済的に自立するための支援が進められている」(25.8%)、「(イ)親への育児支援や子育てしやすい職場環境づくりが進められている」(24.3%)、「(カ)家庭・学校・地域・企業などが相互に協力して子どもたちの育成にかかわっている」(23.8%)、「(ウ)保育サービスの充実が図られ、子育てを支える体制づくりが進められている」(23.6%)が2割台半ばとなっている。(図表1-11)

【地域別】

地域別にみると、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(イ)親への育児支援や子育てしやすい職場環境づくりが進められている」は、“安房地域”(37.5%)で約4割、“君津地域”(34.7%)で約3割台半ばと高くなっている。(図表1-12-2)

「(オ)知・徳・体のバランスの取れた元気な人材を育てる教育環境づくりが進められている」の『そう思う計』は、“長生地域”(33.3%)で3割台半ばと高くなっている。(図表1-12-5)

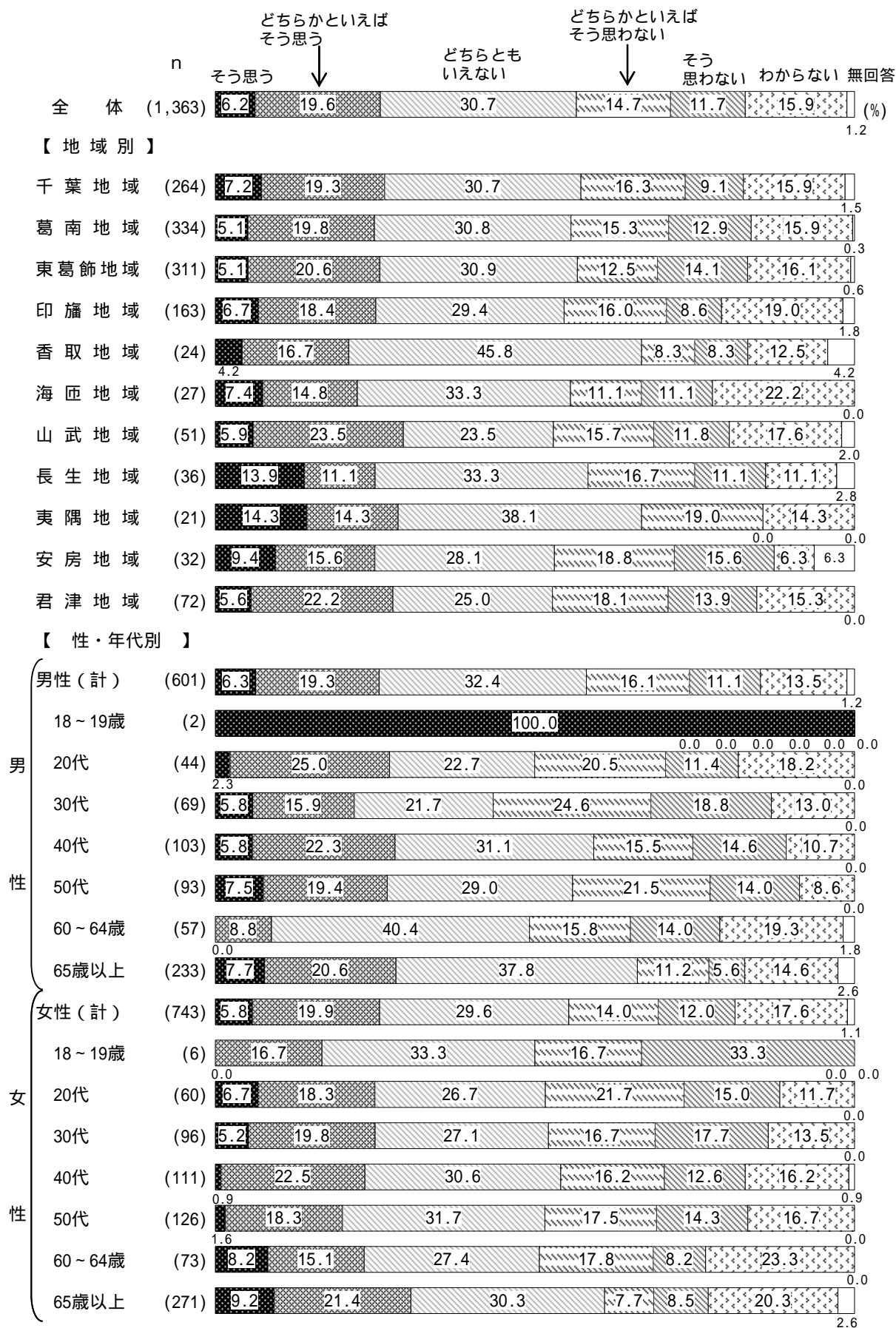
【性・年代別】

性・年代別にみると、「(イ)親への育児支援や子育てしやすい職場環境づくりが進められている」の『そう思わない計』は、男性の30代(40.6%)、男性の40代(40.8%)で4割、男性の50代(36.6%)で3割台半ば、女性の30代(38.5%)で約4割と高くなっている。(図表1-12-2)

「(ウ)保育サービスの充実が図られ、子育てを支える体制づくりが進められている」の『そう思わない計』は、男性の30代(42.0%)で4割を超え、男性の50代(35.5%)で3割台半ば、女性の30代(37.5%)で約4割と高くなっている。(図表1-12-3)

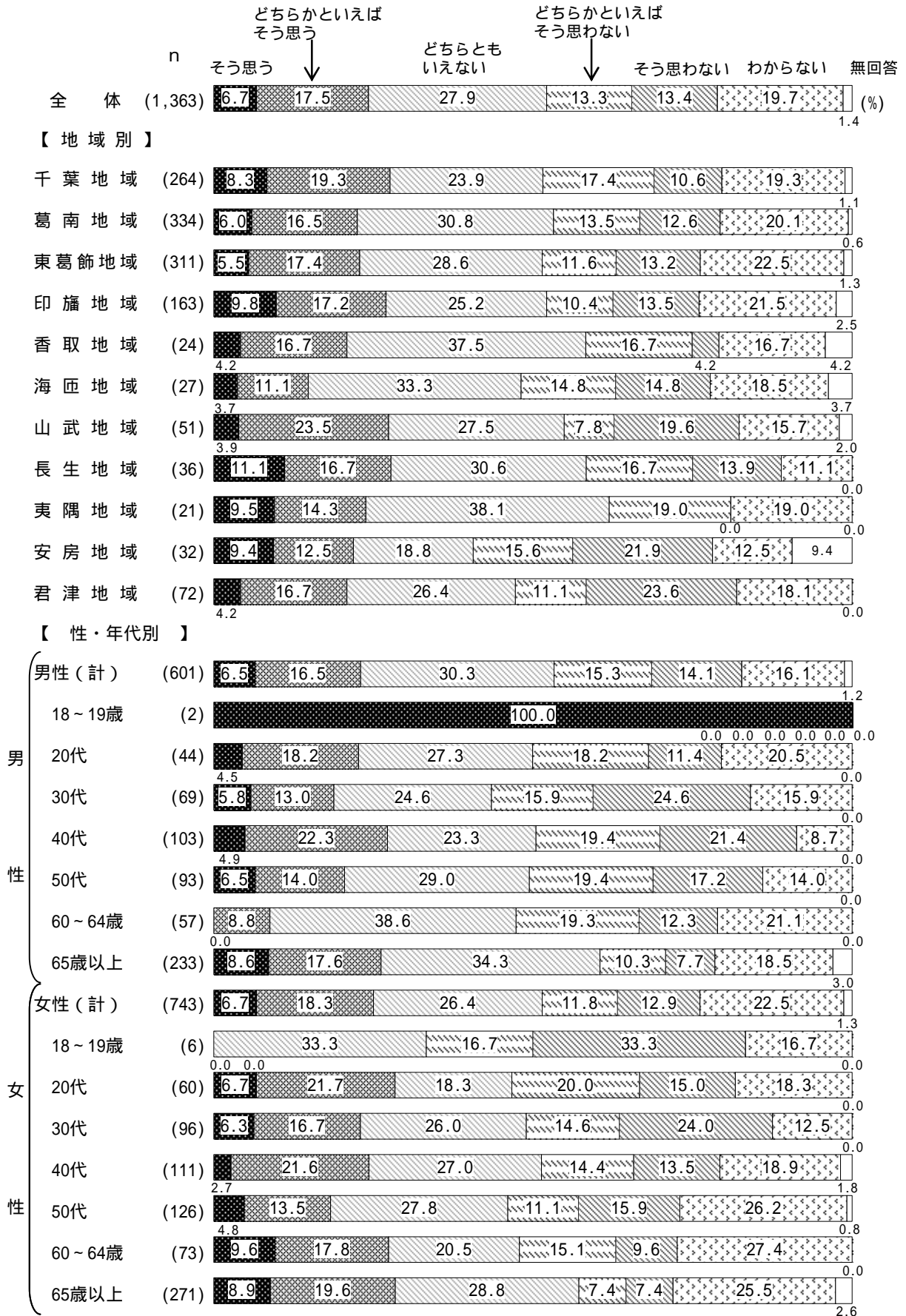
<図表 1 - 12 - 1> 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別

(ア) 子どもが健やかに成長し、社会的・経済的に自立するための支援が進められている

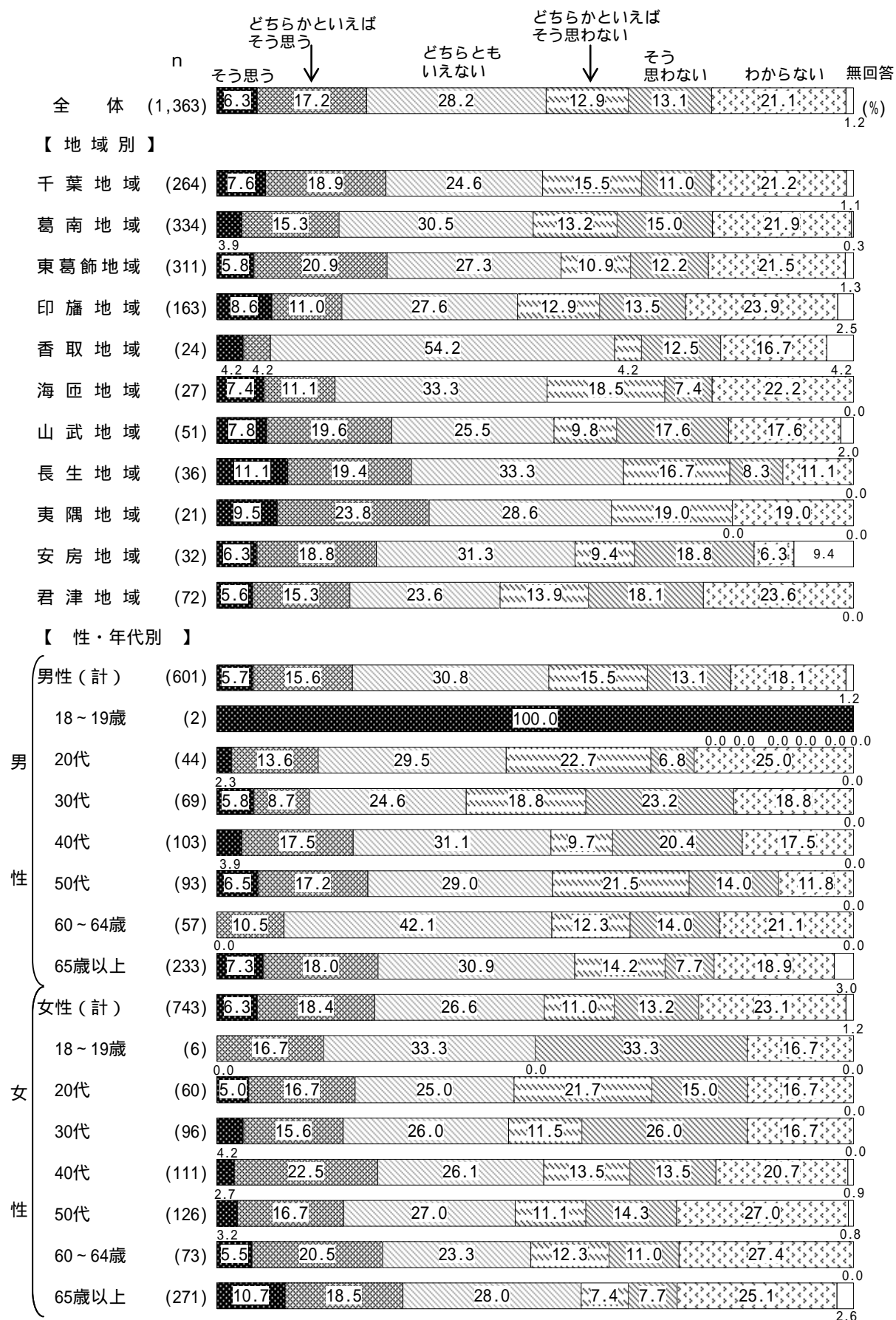


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

<図表 1 - 12 - 2> 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (イ) 親への育児支援や子育てしやすい職場環境づくりが進められている



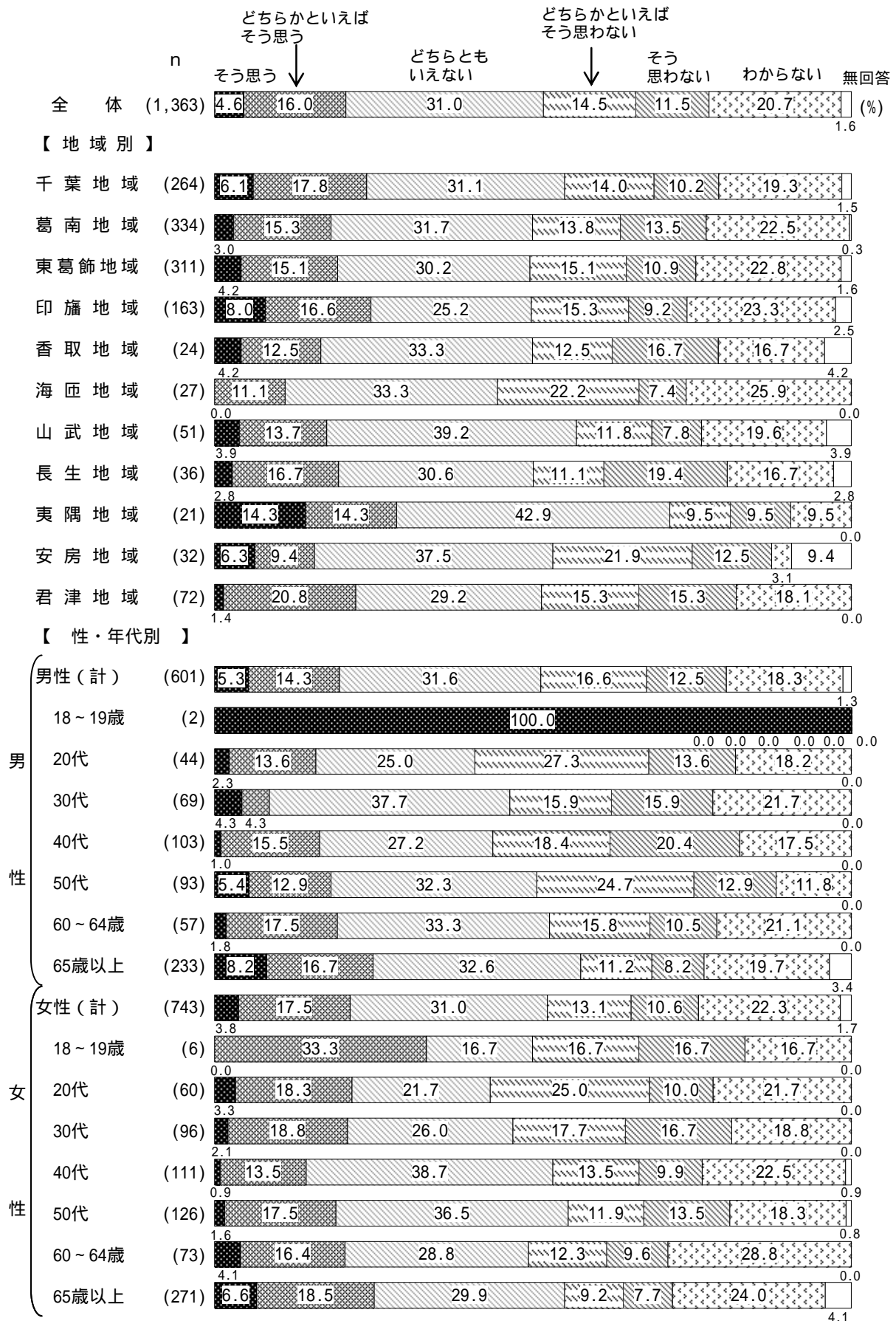
< 図表 1 - 12 - 3 > 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ウ) 保育サービスの充実が図られ、子育てを支える体制づくりが進められている



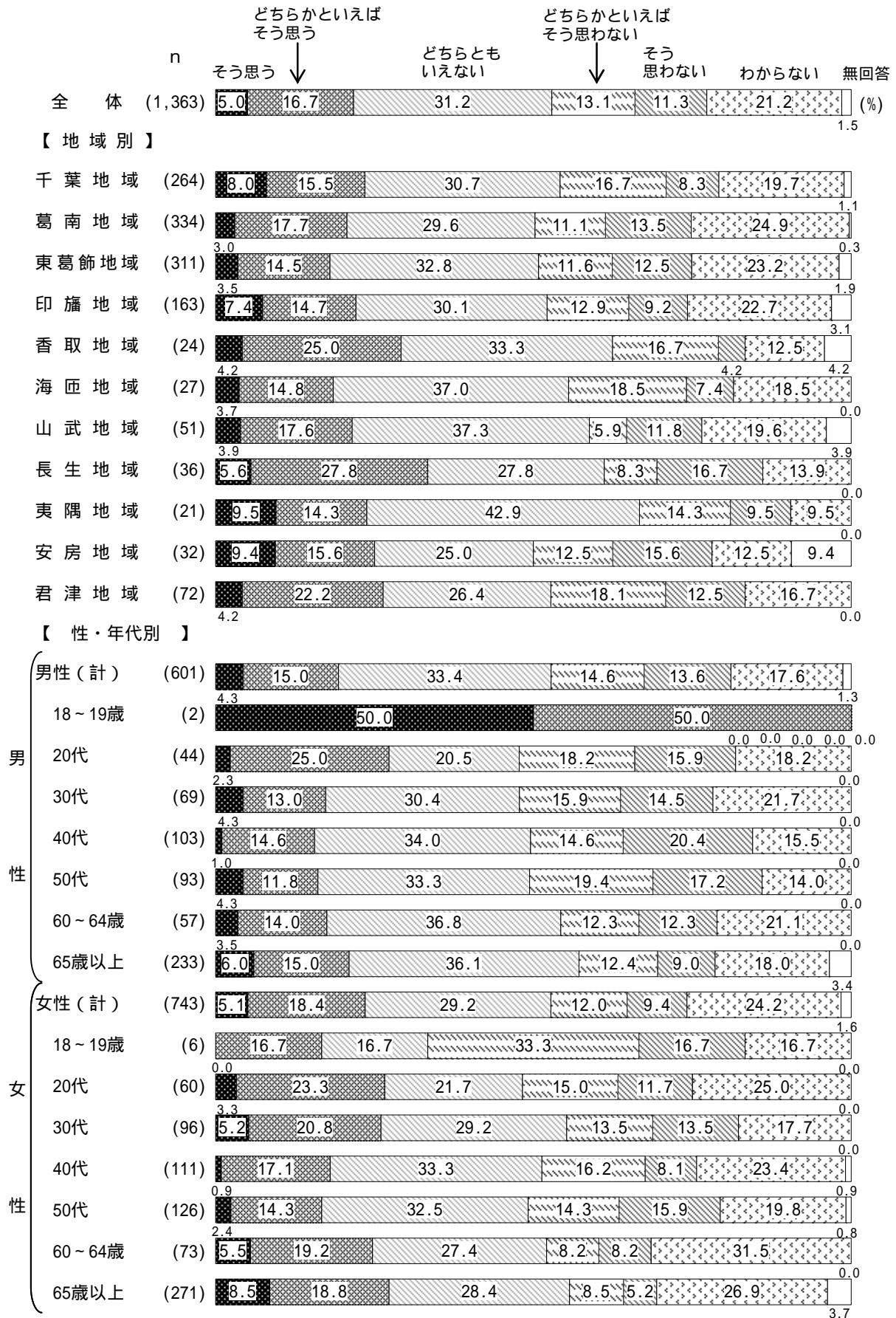
第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 12 - 4 > 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別

(エ) 子どもたちが、自らの生き方を考え、高い志を持ち、様々な課題を乗り越えて生きていく力を育むための取組が進められている

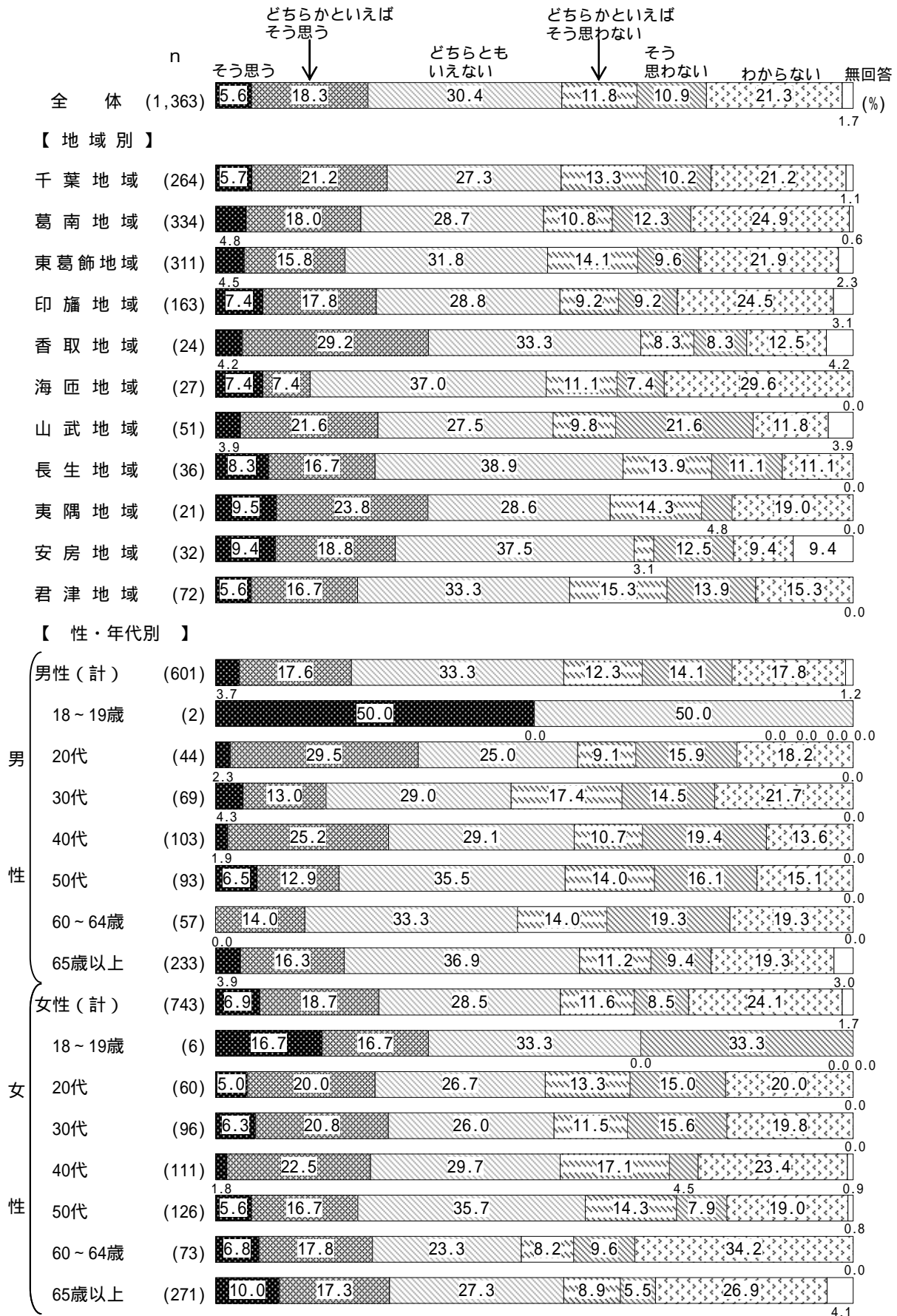


<図表 1 - 12 - 5 > 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (オ) 知・徳・体のバランスの取れた元気な人材を育てる教育環境づくりが進められている



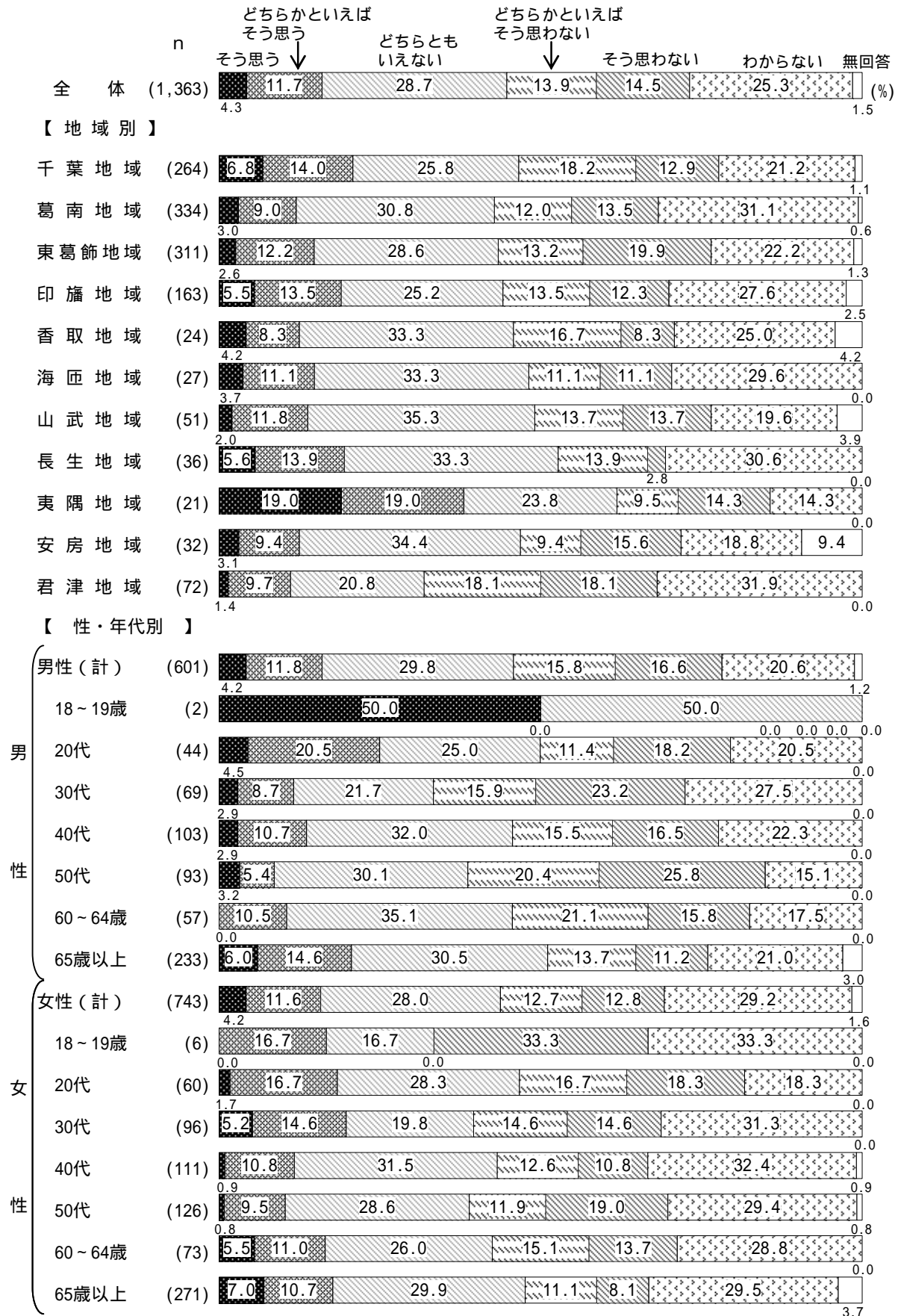
第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 12 - 6 > 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (カ) 家庭・学校・地域・企業などが相互に協力して子どもたちの育成にかかわっている



< 図表 1 - 12 - 7 > 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別

(キ) 社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者に対して、状況に応じた支援を行っている



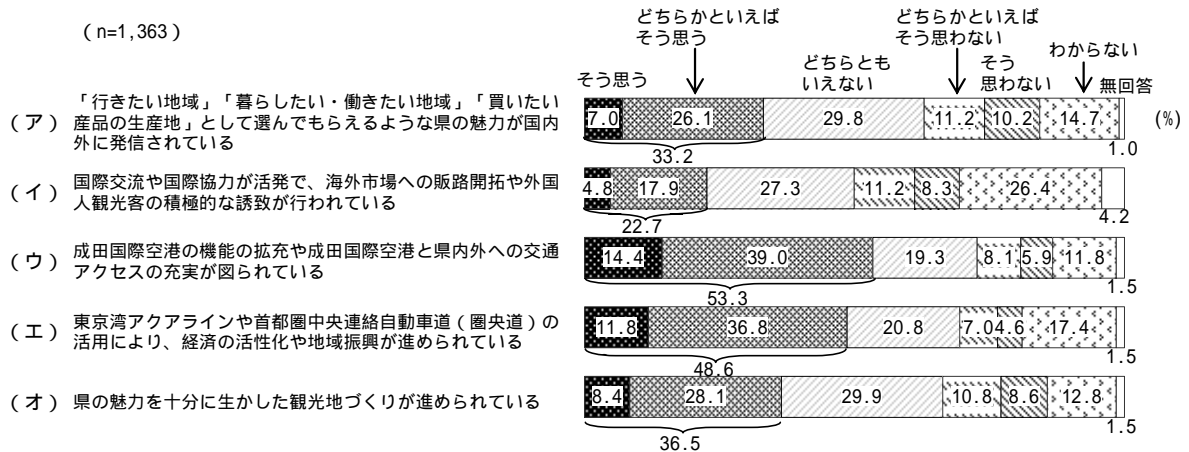
（ 7 ） 千葉県の魅力づくりに関する意識

『成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と県内外への交通アクセスの充実が図られている』が 5 割台半ば

問 7 あなたは、千葉県の魅力づくりに関する次の項目についてどう思いますか。

（ はそれぞれ 1 つ ）

< 図表 1 - 13 > 千葉県の魅力づくりに関する意識



千葉県の魅力づくりに関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ウ)成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と県内外への交通アクセスの充実が図られている」(53.3%)が 5 割台半ば、「(エ)東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の活用により、経済の活性化や地域振興が進められている」(48.6%)が約 5 割となっている。(図表 1 - 13)

【地域別】

地域別にみると、「(ウ)成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と県内外への交通アクセスの充実が図られている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(61.9%)で 6 割を超え、“山武地域”(60.8%)で 6 割と高くなっている。(図表 1 - 14 - 3)

「(エ)東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の活用により、経済の活性化や地域振興が進められている」の『そう思う計』は、“君津地域”(72.2%)で 7 割を超えて高くなっている。(図表 1 - 14 - 4)

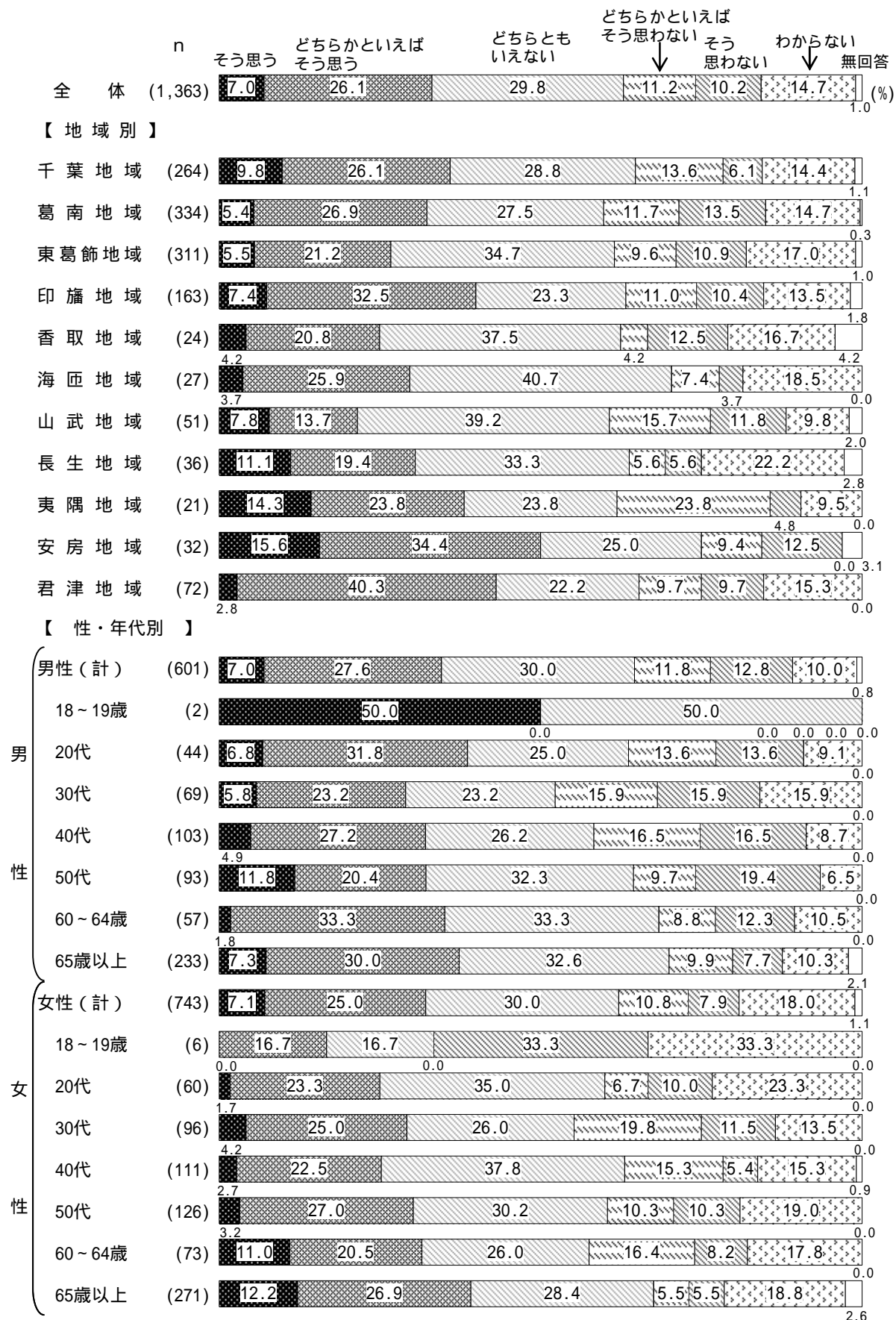
「(オ)県の魅力を十分に生かした観光地づくりが進められている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(52.4%)で 5 割を超えて高くなっている。(図表 1 - 14 - 5)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(ア)「行きたい地域」「暮らしたい・働きたい地域」「買いたい製品の生産地」として選んでもらえるような県の魅力が国内外に発信されている」の男性の 40代(33.0%)で 3 割台半ば、男性の 30代(31.9%)、女性の 30代(31.3%)で 3 割を超えて高くなっている。(図表 1 - 14 - 1)

< 図表 1 - 14 - 1 > 千葉県の魅力づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

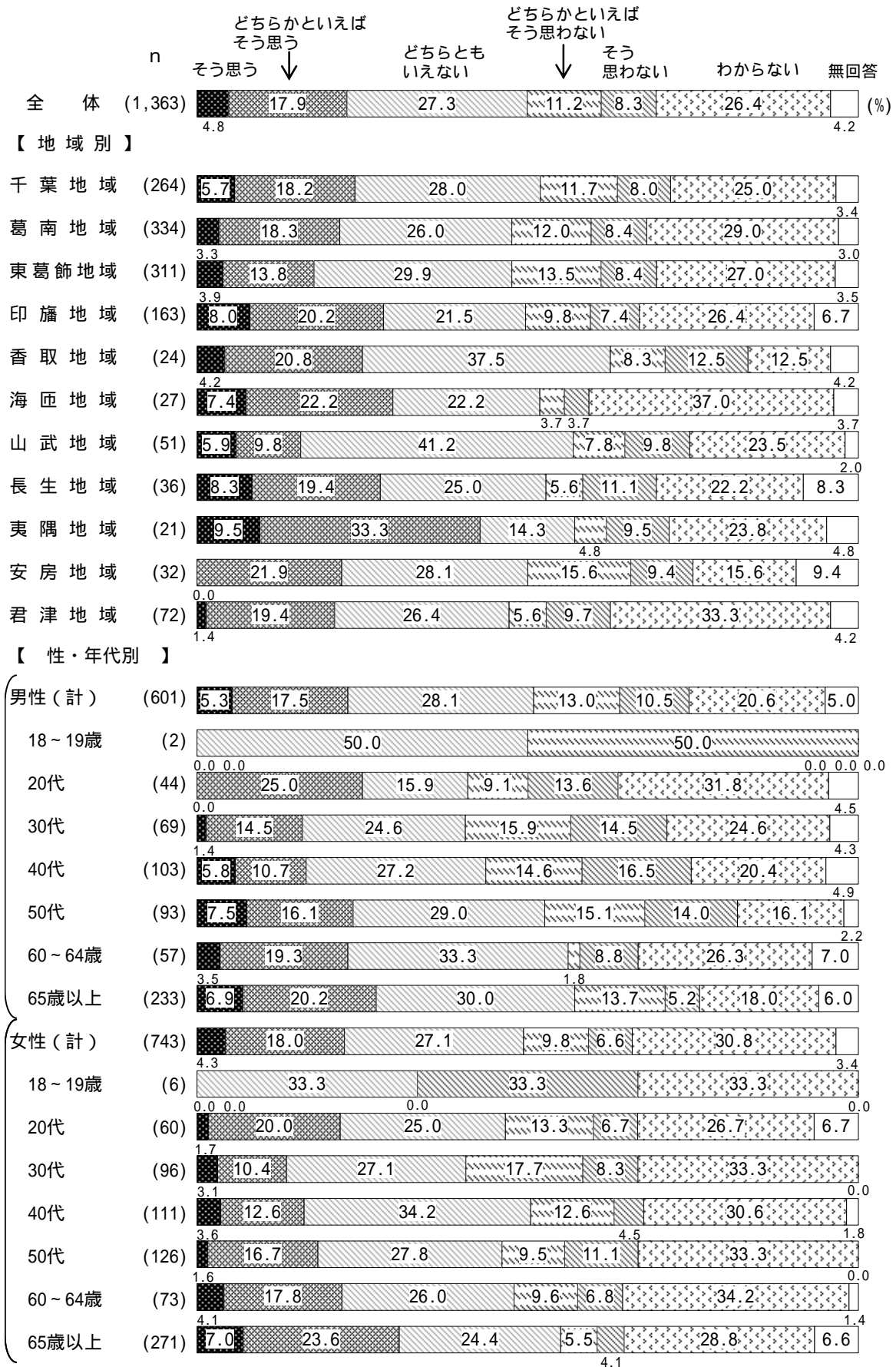
(ア) 「行きたい地域」「暮らしたい・働きたい地域」「買いたい商品の生産地」として選んでもらえるような県の魅力が国内外に発信されている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

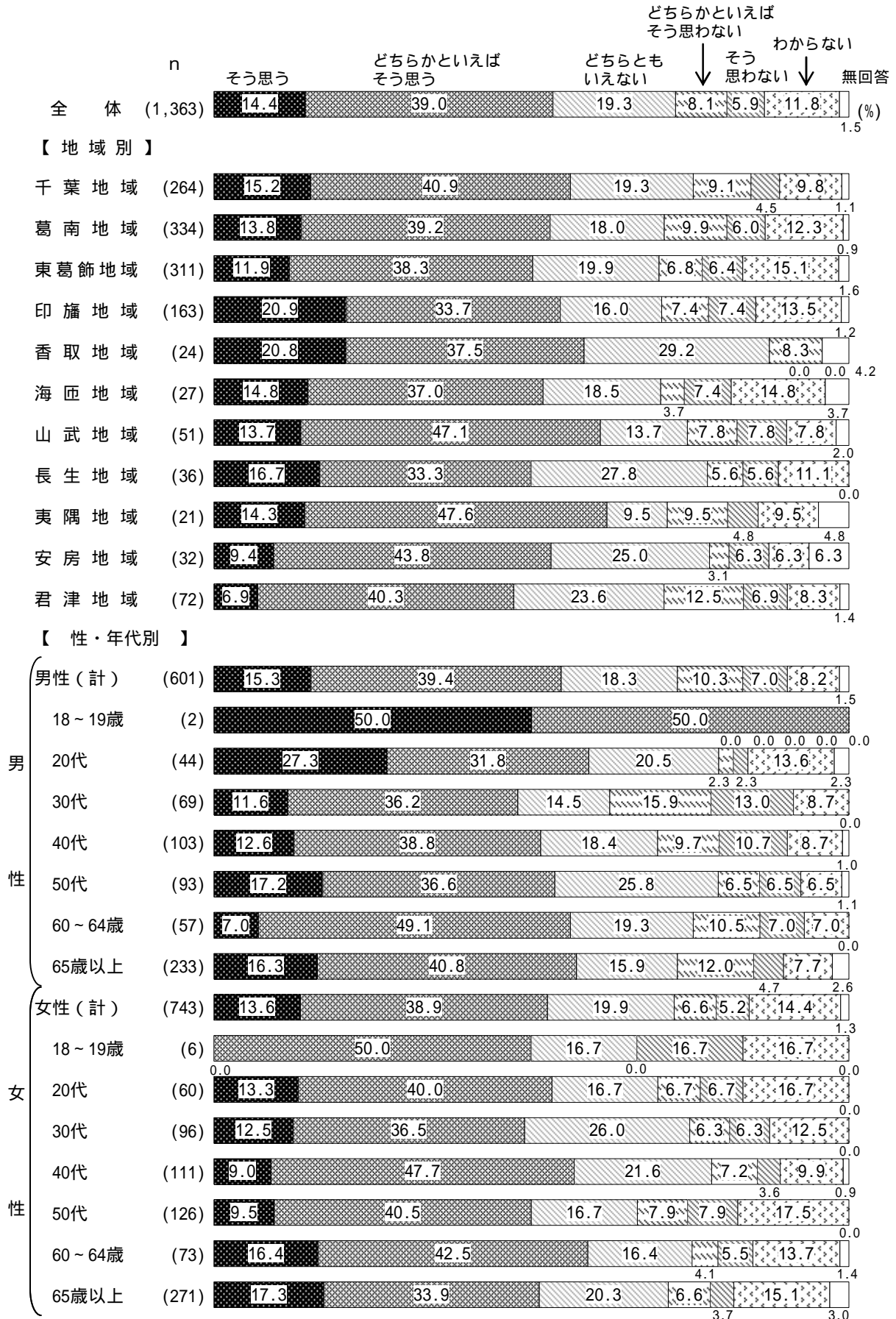
< 図表 1 - 14 - 2 > 千葉県の魅力づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

(イ) 国際交流や国際協力が活発で、海外市場への販路開拓や外国人観光客の積極的な誘致が行われている



< 図表 1 - 14 - 3 > 千葉県の魅力づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

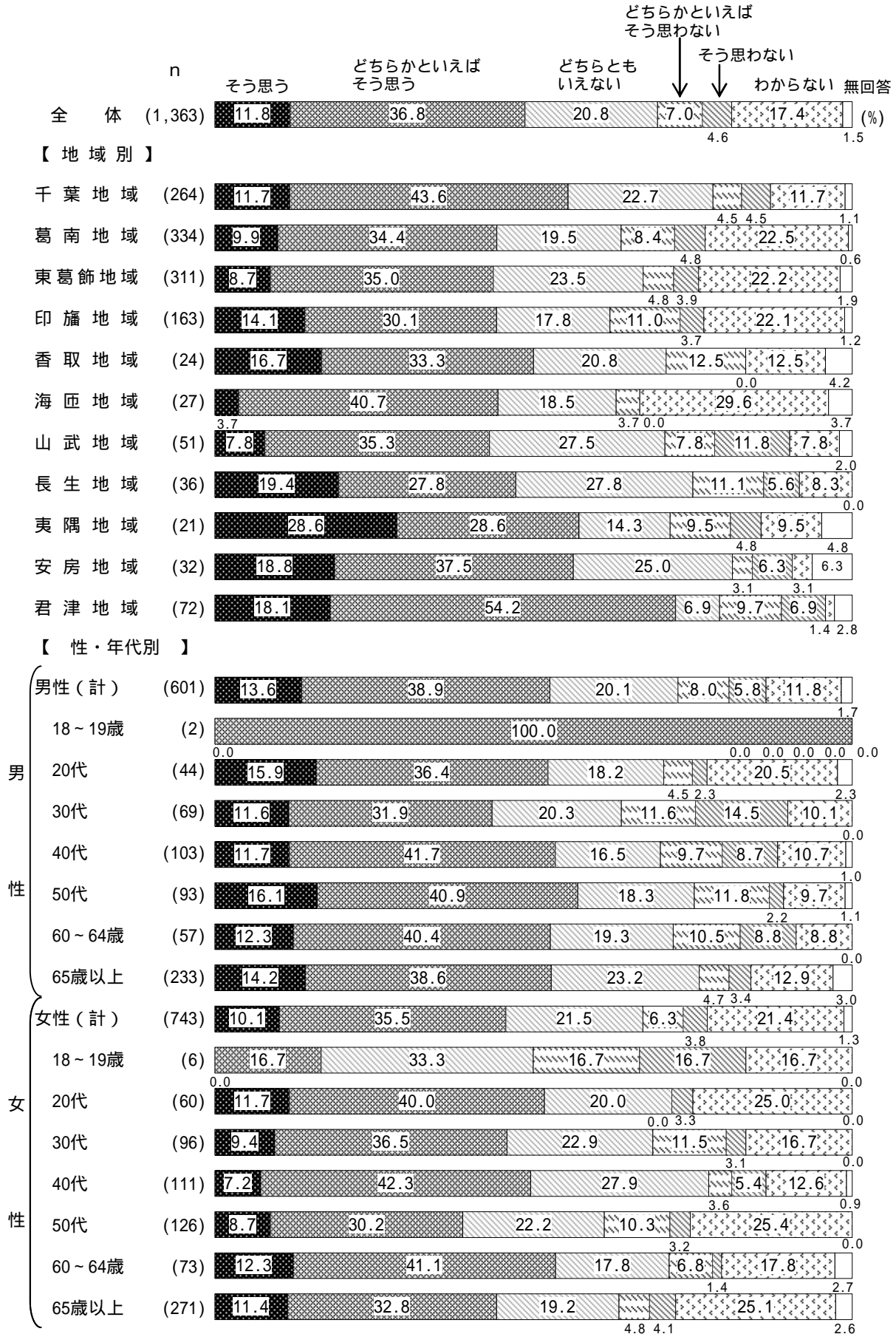
(ウ) 成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と県内外への交通アクセスの充実が図られている



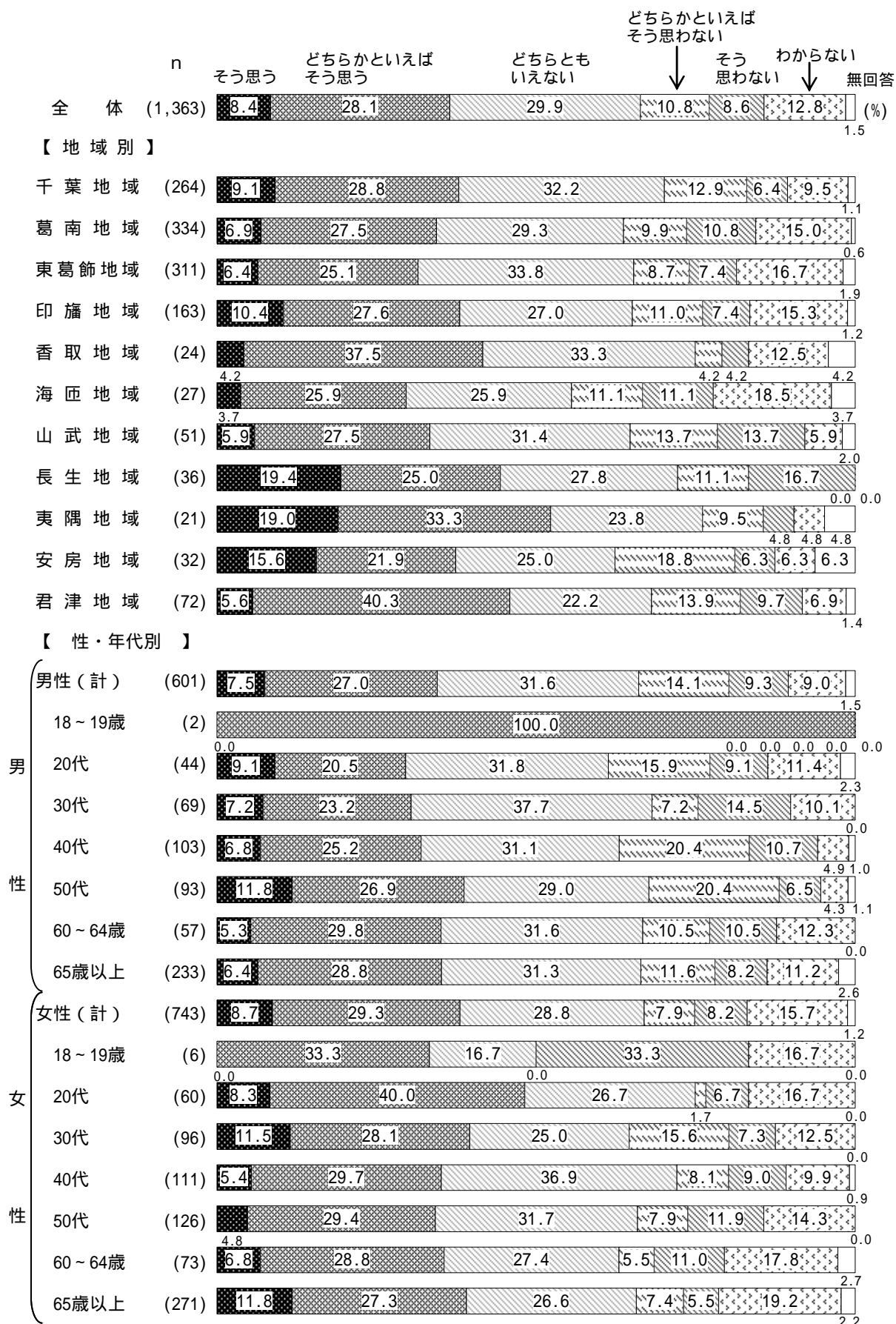
第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 14 - 4 > 千葉県の魅力づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

(エ) 東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の活用により、経済の活性化や地域振興が進められている



< 図表 1 - 14 - 5 > 千葉県の魅力づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別
 (オ) 県の魅力を十分に生かした観光地づくりが進められている



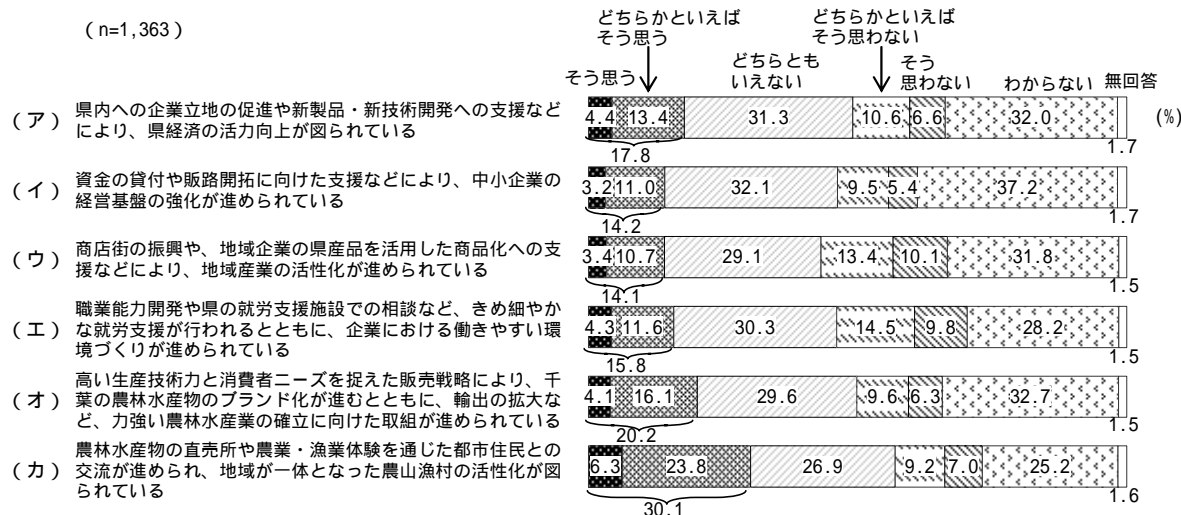
（ 8 ） 商工業や農林水産業の活性化に関する意識

『農林水産物の直売所や農業・漁業体験を通じた都市住民との交流が進められ、地域が一体となった農山漁村の活性化が図られている』が 3 割

問 8 あなたは、商工業や農林水産業の活性化に関する次の項目についてどう思いますか。

（ はそれぞれ 1 つ ）

< 図表 1 - 15 > 商工業や農林水産業の活性化に関する意識



商工業や農林水産業の活性化に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(カ) 農林水産物の直売所や農業・漁業体験を通じた都市住民との交流が進められ、地域が一体となった農山漁村の活性化が図られている」(30.1%) が 3 割、「(オ) 高い生産技術力と消費者ニーズを捉えた販売戦略により、千葉の農林水産物のブランド化が進むとともに、輸出の拡大など、力強い農林水産業の確立に向けた取組が進められている」(20.2%) が 2 割となっている。(図表 1 - 15)

【地域別】

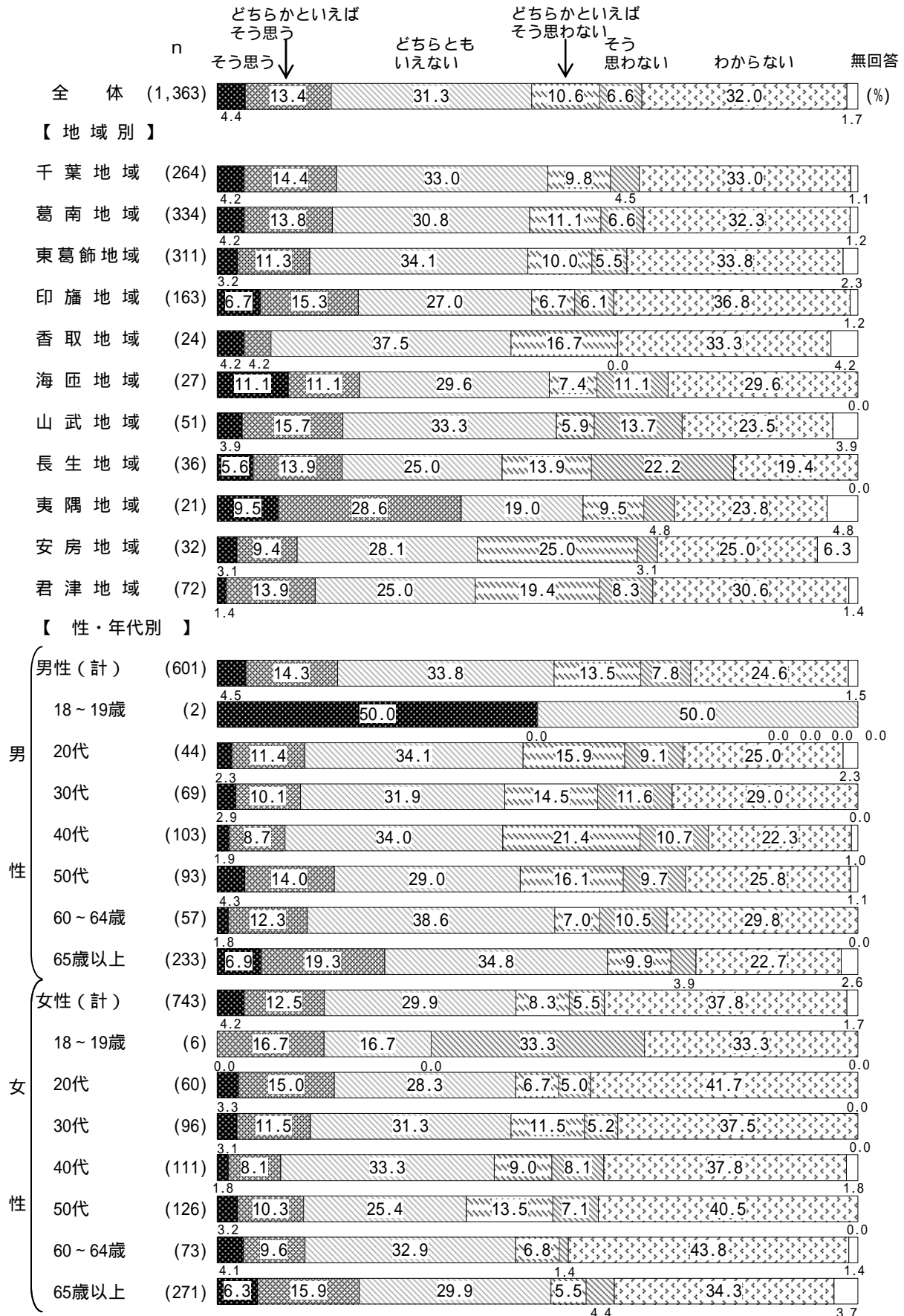
地域別にみると、「(ア) 県内への企業立地の促進や新製品・新技術開発への支援などにより、県経済の活力向上が図られている」の『そう思う計』は、“夷隅地域”(38.1%) で約 4 割と高くなっている。(図表 1 - 16 - 1)

「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(カ) 農林水産物の直売所や農業・漁業体験を通じた都市住民との交流が進められ、地域が一体となった農山漁村の活性化が図られている」の“長生地域”(38.9%) で約 4 割と高くなっている。(図表 1 - 16 - 6)

【性・年代別】

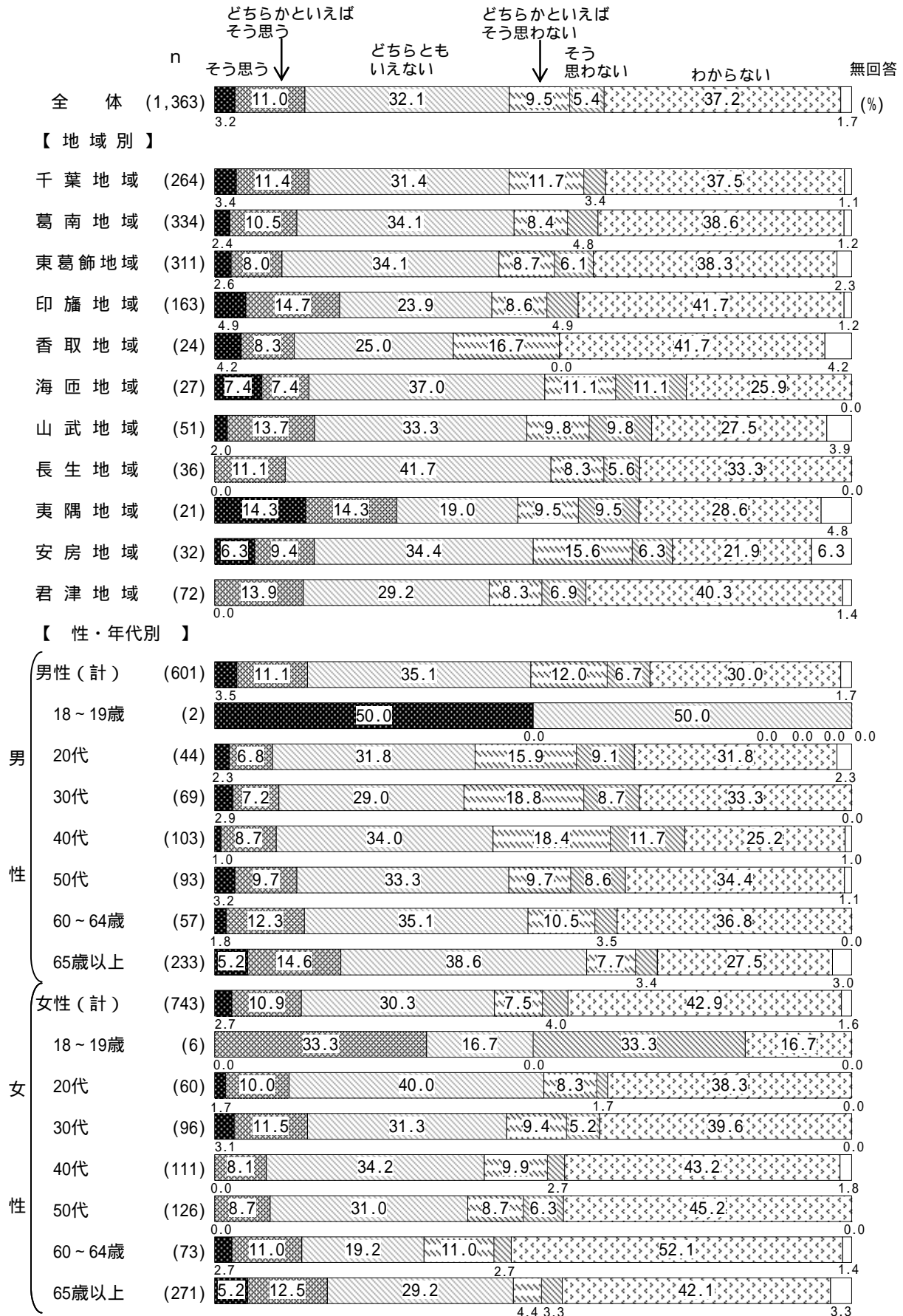
性・年代別にみると、「(ウ) 商店街の振興や、地域企業の県産品を活用した商品化への支援などにより、地域産業の活性化が進められている」の『そう思わない計』は、男性の 30代(33.3%)、男性の 40代(35.0%) で 3 割台半ば、男性の 50代(32.3%) で 3 割を超えて高くなっている。(図表 1 - 16 - 3)

<図表 1 - 16 - 1> 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ア) 県内への企業立地の促進や新製品・新技術開発への支援などにより、県経済の活力向上が
 図られている



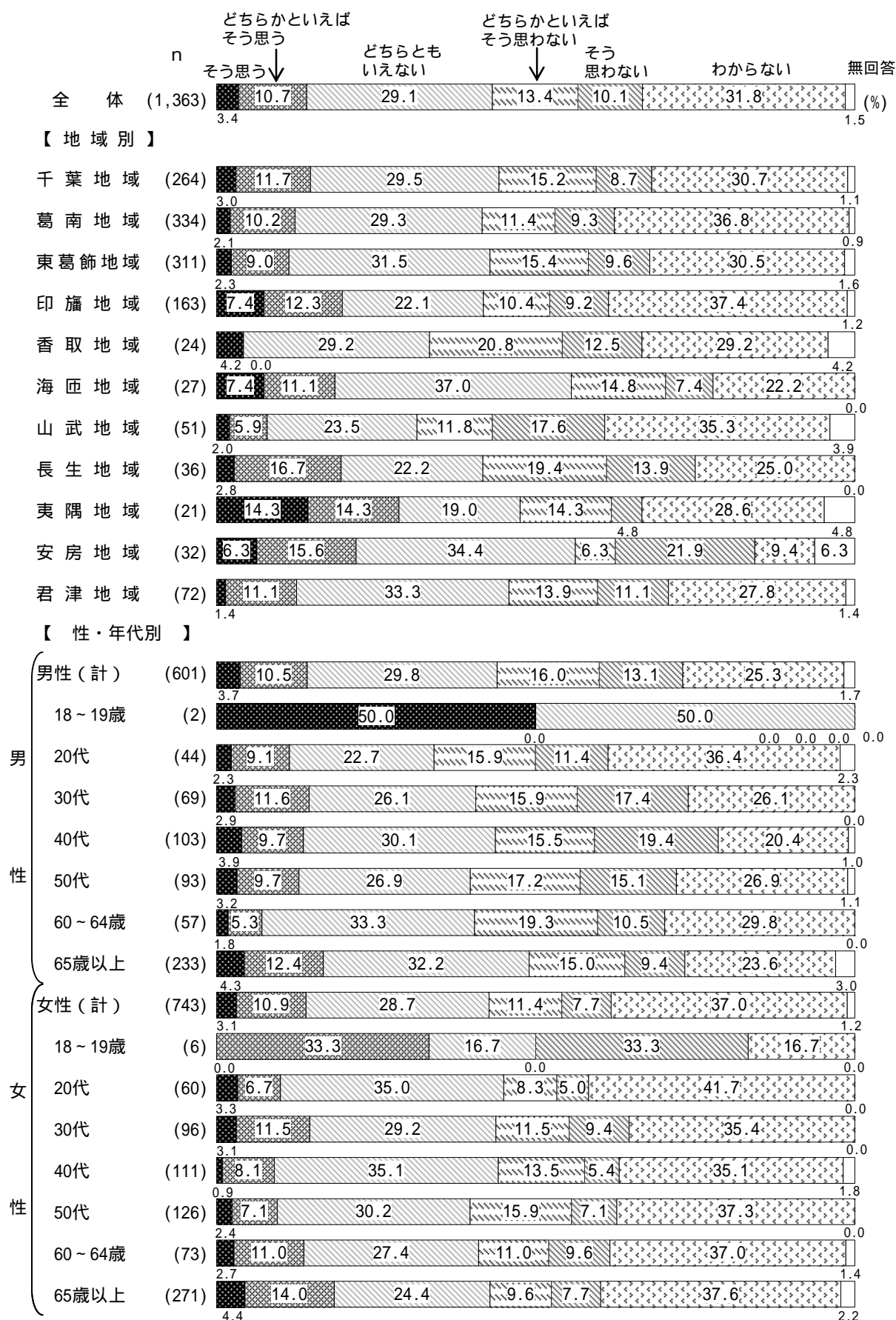
第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 16 - 2 > 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (イ) 資金の貸付や販路開拓に向けた支援などにより、中小企業の経営基盤の強化が進められている



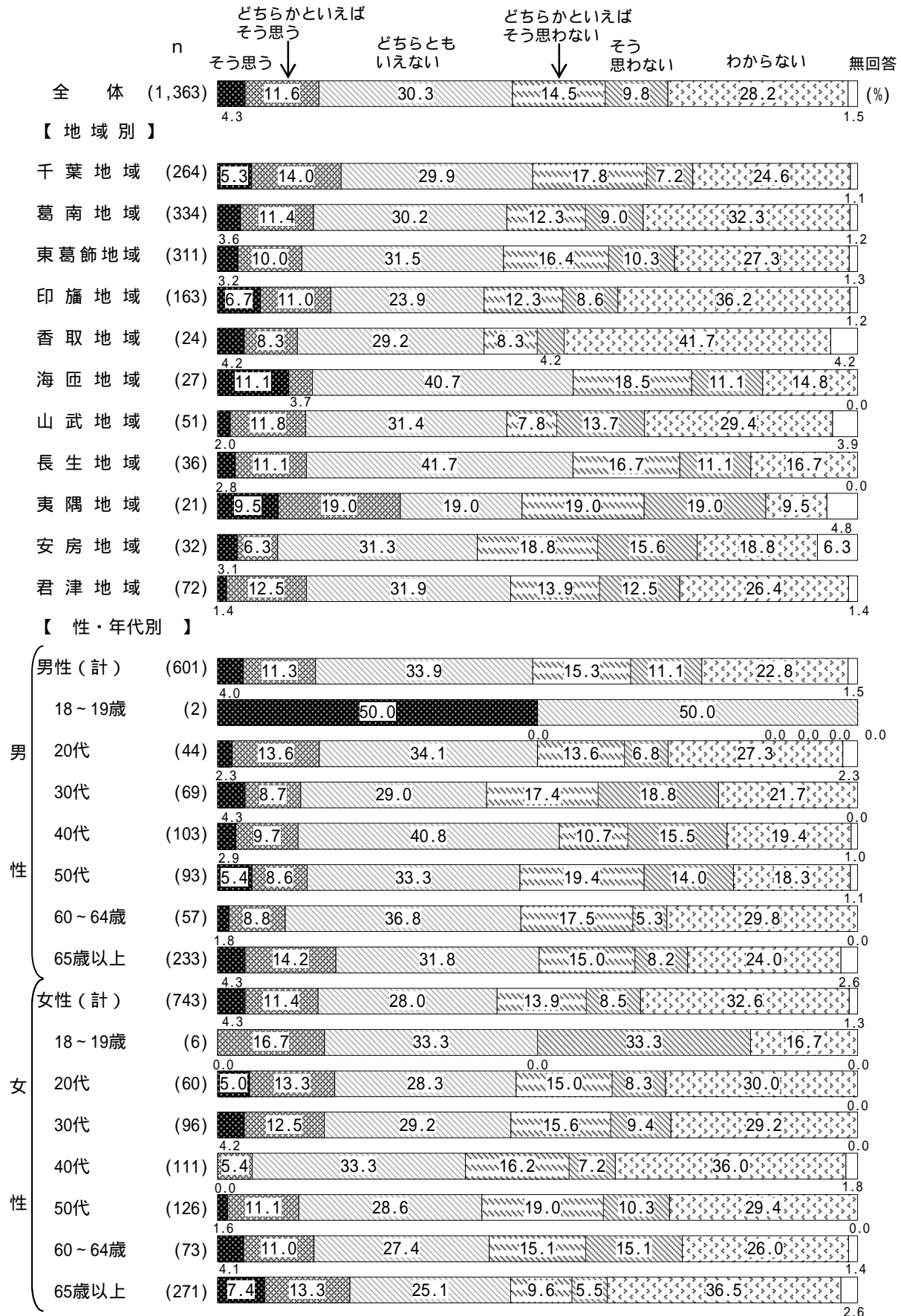
< 図表 1 - 16 - 3 > 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別

(ウ) 商店街の振興や、地域企業の県産品を活用した商品化への支援などにより、地域産業の活性化が進められている

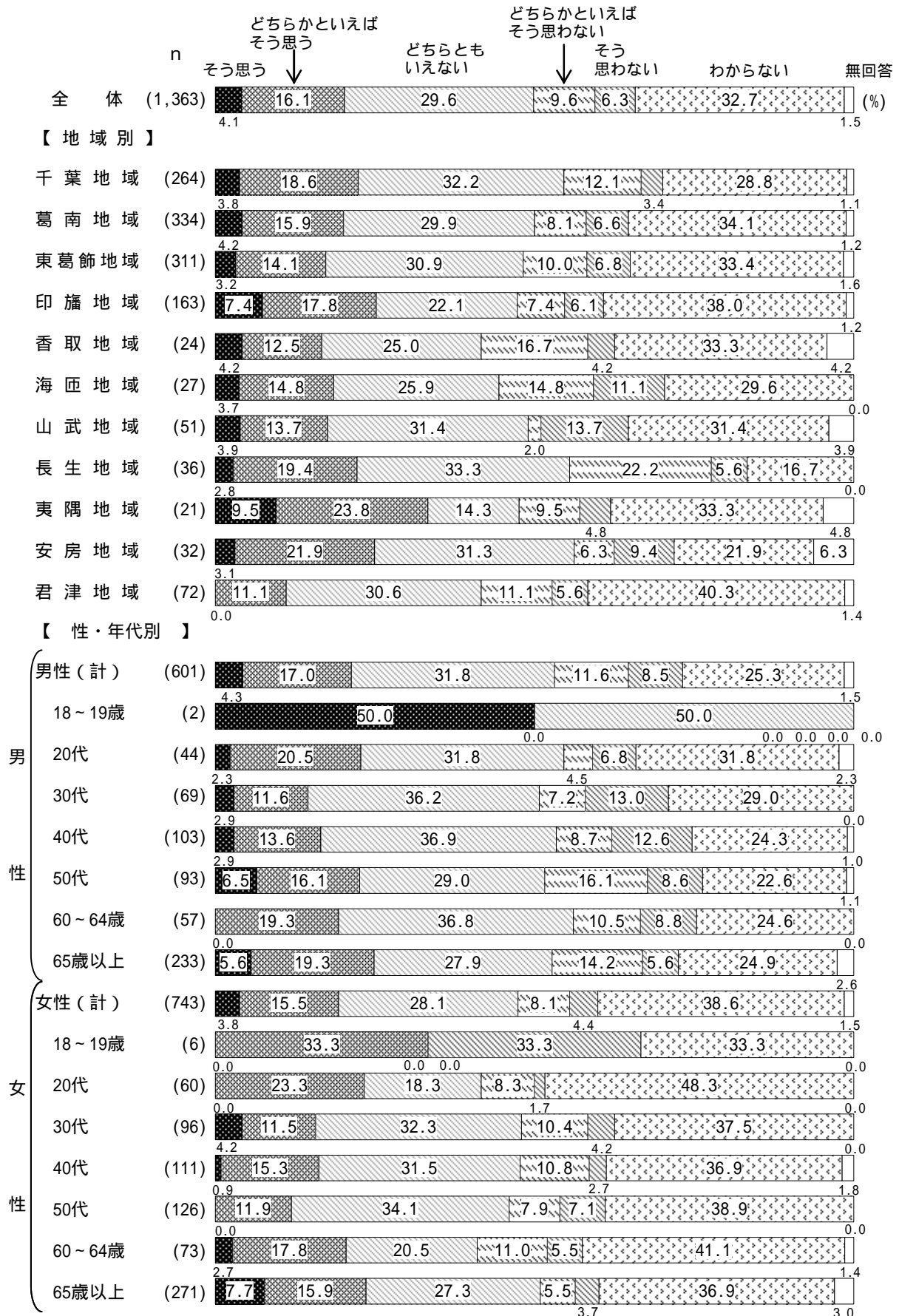


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 16 - 4 > 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (工) 職業能力開発や県の就労支援施設での相談など、きめ細やかな就労支援が行われるとともに、企業における働きやすい環境づくりが進められている

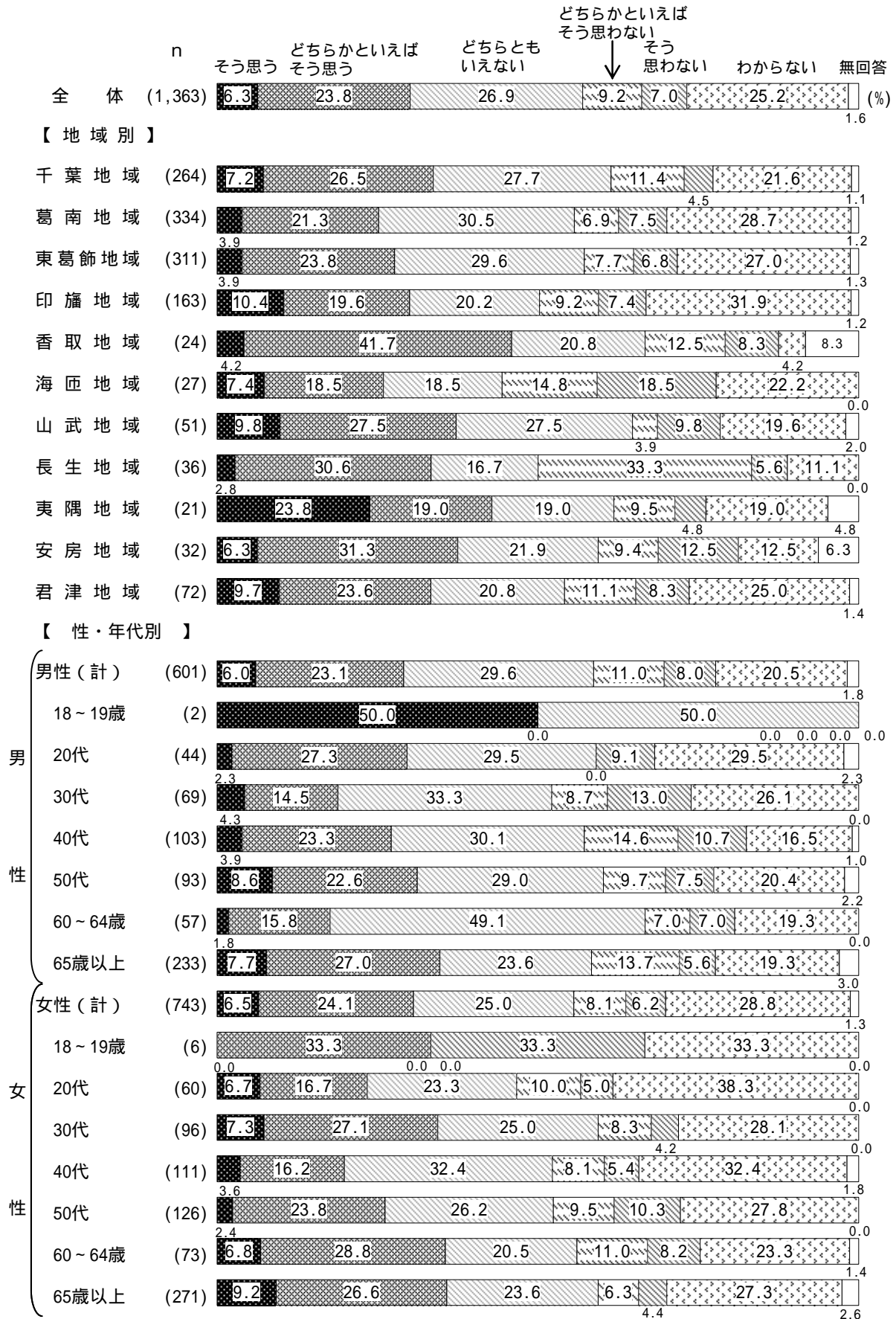


< 図表 1 - 16 - 5 > 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (オ) 高い生産技術力と消費者ニーズを捉えた販売戦略により、千葉の農林水産物のブランド化が進むとともに、輸出の拡大など、力強い農林水産業の確立に向けた取組が進められている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 16 - 6 > 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別
 (カ) 農林水産物の直売所や農業・漁業体験を通じた都市住民との交流が進められ、地域が一体となった農山漁村の活性化が図られている



（ 9 ） 県の基盤づくりに関する意識

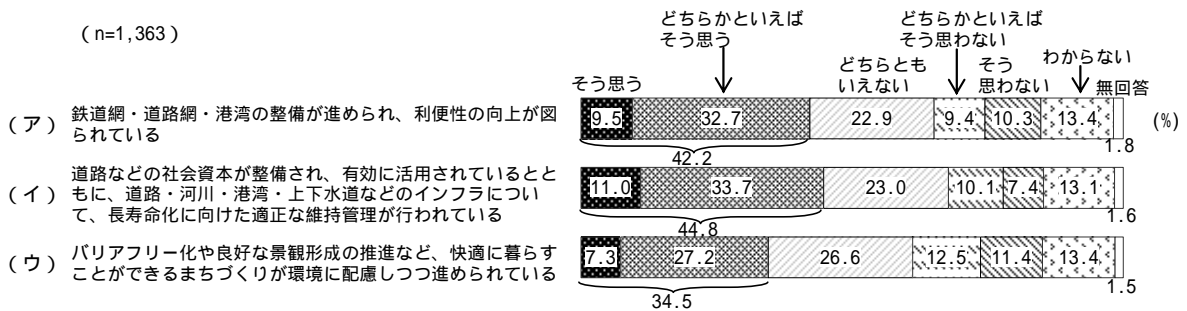
『道路などの社会資本が整備され、有効に活用されているとともに、道路・河川・港湾・上下水道などのインフラについて、長寿命化に向けた適正な維持管理が行われている』が4割台半ば

問9 あなたは、県の基盤づくりに関する次の項目についてどう思いますか。

（ はそれぞれ1つ ）

<図表1 - 17> 県の基盤づくりに関する意識

(n=1,363)



県の基盤づくりに関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ)道路などの社会資本が整備され、有効に活用されているとともに、道路・河川・港湾・上下水道などのインフラについて、長寿命化に向けた適正な維持管理が行われている」(44.8%)が4割台半ば、「(ア)鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている」(42.2%)が4割を超えている。

【地域別】

地域別にみると、「(ア)鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている」の『そう思う計』は、“長生地域”(58.3%)で約6割と高くなっている。

また、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』は、“安房地域”(34.4%)で3割台半ばと高くなっている。(図表1 - 18 - 1)

「(イ)道路などの社会資本が整備され、有効に活用されているとともに、道路・河川・港湾・上下水道などのインフラについて、長寿命化に向けた適正な維持管理が行われている」の『そう思う計』は、“君津地域”(62.5%)で6割を超えて高くなっている。(図表1 - 18 - 2)

【性・年代別】

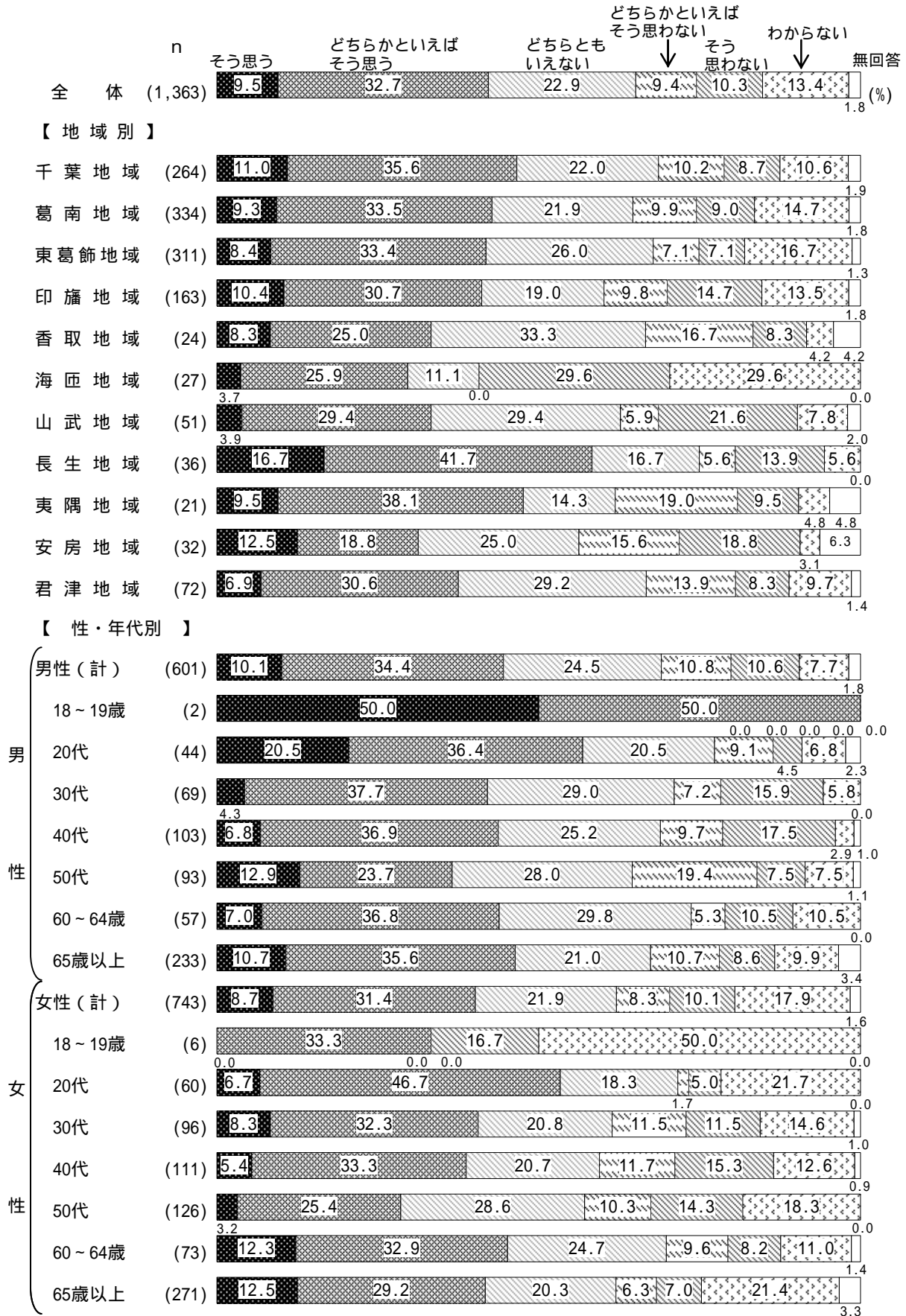
性・年代別にみると、「(ア)鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている」の『そう思う計』は、男性の20代(56.8%)で5割台半ばと高くなっている。

また、『そう思わない計』は、女性の40代(27.0%)で約3割と高くなっている。(図表1 - 18 - 1)

「(ウ)バリアフリー化や良好な景観形成の推進など、快適に暮らすことができるまちづくりが環境に配慮しつつ進められている」の『そう思う計』は、男性の20代(52.3%)で5割を超えて高くなっている。また、『そう思わない計』は、男性の50代(33.3%)で3割台半ばと高くなっている。(図表1 - 18 - 3)

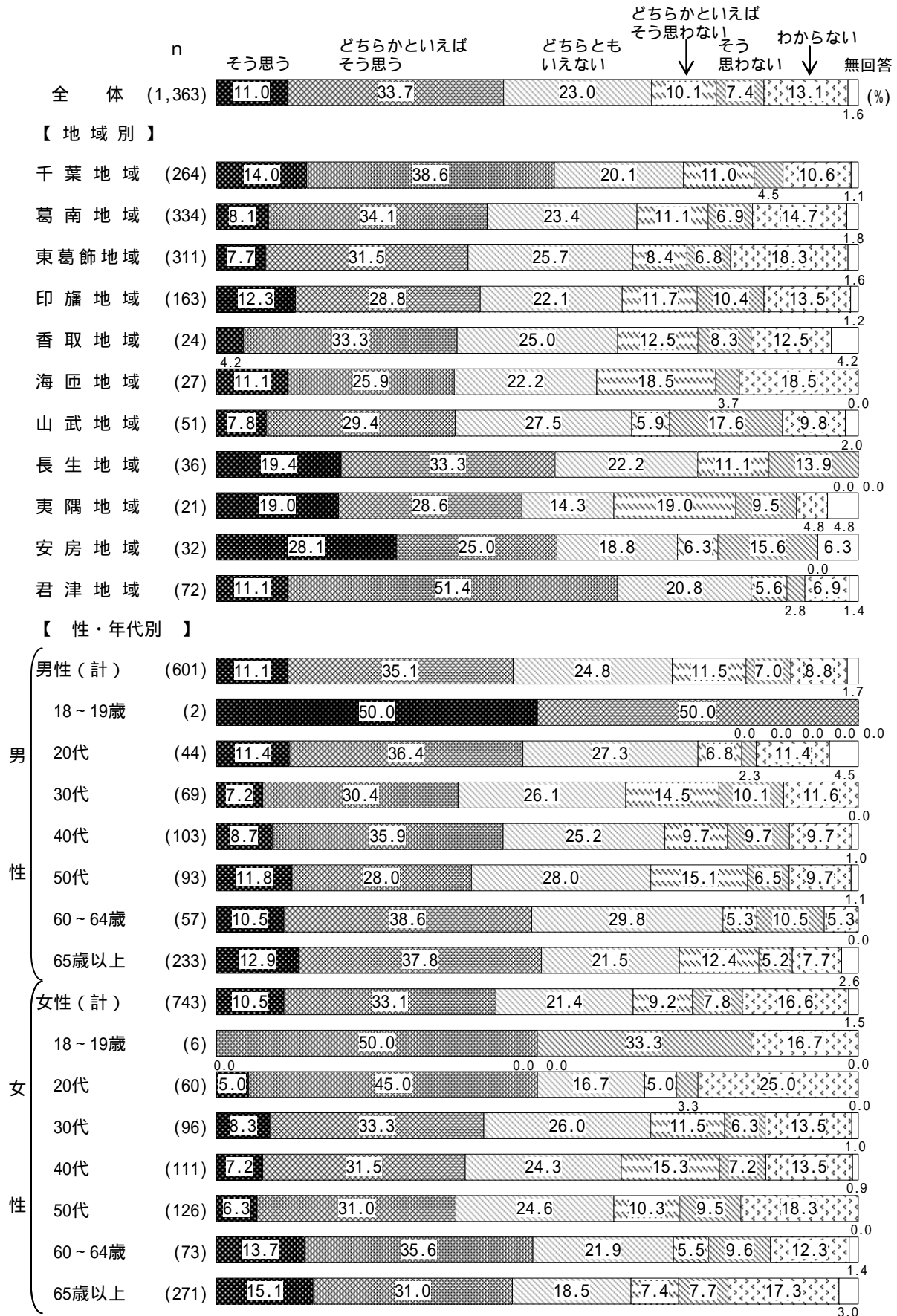
第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 18 - 1 > 県の基盤づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別
 (ア) 鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている



< 図表 1 - 18 - 2 > 県の基盤づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

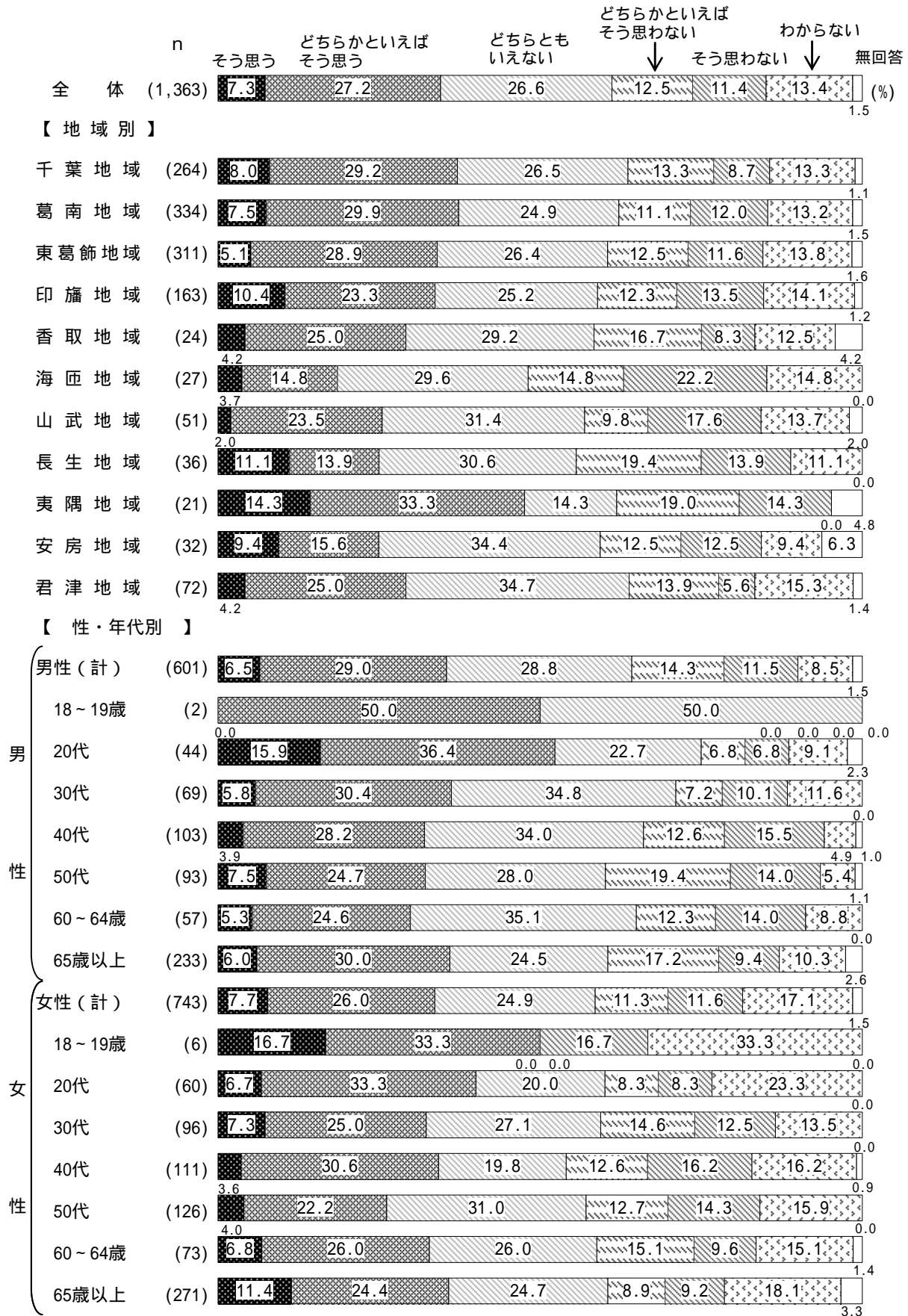
(イ) 道路などの社会資本が整備され、有効に活用されているとともに、道路・河川・港湾・上下水道などのインフラについて、長寿命化に向けた適正な維持管理が行われている



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 1 - 18 - 3 > 県の基盤づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

(ウ) バリアフリー化や良好な景観形成の推進など、快適に暮らすことができるまちづくりが環境に配慮しつつ進められている



このほかに、県が今後力を入れていくべき分野や取組について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、335人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「県が今後力を入れていくべき分野や取組」の自由回答（抜粋）

最近千葉県での犯罪が多発していると思う。もっとそういう事が起こらないようにパトロールや、母親が子供を育てやすい場を作っていくべきだと思う。(女性、18~19歳、東葛飾地域)

道の駅等の支援による農漁業の活性化(県内の道の駅は多くていいと思う)。弱者への対応(バリアフリー、生活支援、補助等)は今後とも続けて欲しい。もう少し広報(県のPR)が目立っても良い。(男性、65歳以上、東葛飾地域)

2020年の東京オリンピック、パラリンピックに向けて、空港もあるのだから国内外に向けてもっとアピール、情報発信とハード面の拡充をするべきだと思う。このままでは成田空港も、もったいない!!!(女性、30代、印旛地域)

千葉県の自然環境(山・河・海岸)などの整備。例えば私が住む花見川区は花見川がありますが、川岸をもっときれいにしてサイクリング・散歩・ジョギングなど気持ちよく安全にできるようにしてほしい。(男性、60~64歳、千葉地域)

アクアライン通行800円は続けて欲しい。保育の充実をはかってほしい。待機児童対策を続けて欲しい。安心して働けないので。また、少子化対策も。(女性、30代、千葉地域)

あれもこれもと手を広げると、担当者の数や手も限りがあると思うので、どっちつかずの結果にならないように取捨選択をしてほしい。教育(特に子供)は不可欠だと思います。
(女性、40代、葛南地域)

成田空港を核に外国企業を誘致し、国際的なビジネスセンターを構築し、経済効果を上げる。子育て支援と教育にもっと真剣に取り組むこと。(男性、65歳以上、東葛飾地域)

現在は県内の交通網が充分ではなく、過疎化している地域もある。交通網を整備し、人の流通を活発にし、利便性と自然豊かな風土とを共存させることで、観光、定住ともにしやすい環境をつくる。(女性、65歳以上、東葛飾地域)

千葉県に住みたいと思わせる税制、教育、子育て等、環境の整備に力を入れてほしい。一方、物づくりの県を目指すための企業の誘地に力を入れる事も必要。(男性、65歳以上、印旛地域)